

2027年度

入学試験要項

〈学校推薦型選抜〉

公募制推薦入試

〈一般選抜〉

一般入試

共通テスト利用入試

愛知淑徳大学 受験生サイトで
最新の情報を確認してください。
出願前、試験前日、試験当日は
必ず確認してください。

<https://www.aasa.ac.jp/welcome/>

愛知淑徳大学 受験生サイト 検索



■アドミッション・ポリシー(入学受入方針)

愛知淑徳大学は、「違いを共に生きる」を理念として掲げ、性別、国籍、年齢、異なった能力など、さまざまな違いをもつ者が共に学ぶ環境づくりに努めている。その環境の中で繰り広げられる多彩な教育・研究活動を通じて、広い視野と深い思考力を身につけ、時々刻々と変化する現象に対する洞察力と時代を先取りする先見性を獲得し、さらに、新たな価値の発見とその普及のための優れた実践力が養成されている。このような伝統を継承し、さらに推し進めるための学生受け入れ方針として、多様な入試制度を導入している。

公募制推薦入試：高等学校で身につけた基礎学力や思考力を問う入試。

日本語や英語の知識と運用能力、分析的認識力、論理的思考力を持ち、それらを大学での専門的学修に活かしていこうと考えている者を対象とした入試である。所属学校長による推薦を受けた者を対象とする。

一般入試：多様な教科型入試。

一般入試は人文科学、社会科学、自然科学、語学など広い範囲に関する学力を基盤とし、その中の特定分野の知識やスキルを入学後の専門教育での学修に有効に活かしたいと考えている者を対象とした入試。入試方式（前期3教科型、前期2教科型、共通テストプラス型、後期）に従って、学科・専攻での学修に関係の深い科目や自らが得意とする科目を選択（一部の入試方式、学科・専攻では必須もあり）して受験する入試である。

共通テスト利用入試：大学入学共通テストの教科（科目）のうち、本学が指定した教科（科目）を利用する入試（前期3教科型、前期4教科型、後期）。

様々な分野において培った基礎学力を活かし、大学入試センターが実施する大学入学共通テストを利用して入学を希望する者を対象とした入試である。

個人情報の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づいて、個人情報を厳重に管理します。

出願に際してお知らせいただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、志願者への連絡や、入学試験用データとして利用します。これらの個人情報は、愛知淑徳大学に入学された後、入学用データとして、教学および大学生活全般に関する業務、ならびにこれらに付随する業務をおこなうために利用します。また、愛知淑徳大学関連団体がおこなう同様の業務のためにも利用します。

なお、これらの業務は、愛知淑徳大学および愛知淑徳大学関連団体より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます）においておこなう場合があります。この業務委託にあたり、受託業者に対して、委託業務を遂行するために必要となる範囲で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。あらかじめご了承ください。

目次

学科・専攻別アドミッション・ポリシー	1
--------------------	---

インターネット出願

出願の流れ	7
事前準備	8
マイページの作成／出願登録／「インターネット出願確認票」等の印刷	9
入学検定料の納入	10
出願書類の郵送／受験票・受験番号の取得	11

公募制推薦入試 学校推薦型選抜

募集人員	12
入試日程／出願資格	13
出願書類／入学検定料／注意点	15
試験時間割／選抜方法・試験教科(科目)・配点	16
合否判定の方法および基準について／受験上の注意	17
試験会場(星が丘キャンパス)案内／合格発表／入学手続	19

一般入試／共通テスト利用入試 一般選抜

■共通①

入試日程／併願パターン	21
入学検定料	22
出願資格	23
出願書類	25

■一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕

募集人員／入試日程	26
入学検定料／注意点／試験時間割	27
選抜方法・試験教科(科目)・配点	28
「英語の資格・検定試験」を利用した「みなし満点」制度について／合否判定の方法および基準について	29
受験上の注意	30

■一般入試〔共通テストプラス型〕(本学独自試験1教科+大学入学共通テスト2教科)

募集人員／入試日程／入学検定料	32
選抜方法・試験教科(科目)・配点	33
合否判定の方法および基準について／注意点	34

■一般入試〔後期〕(1教科型)

募集人員／入試日程／入学検定料	35
注意点／試験時間割／選抜方法・試験教科(科目)・配点	36
合否判定の方法および基準について／受験上の注意	37

■共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕

募集人員／入試日程／入学検定料	39
選抜方法・試験教科(科目)・配点／合否判定の方法および基準について	40

■共通テスト利用入試〔後期〕(2教科型)

募集人員／入試日程／入学検定料	41
選抜方法・試験教科(科目)・配点／合否判定の方法および基準について	42

■共通②

試験会場(本学試験会場・学外試験会場)	43
合格発表／追加合格	44
入学手続	45

公募制推薦入試／一般入試／共通テスト利用入試 共通

学納金〔1年次〕	47
奨学金	49
成績開示	50
点数調整について(公募制推薦入試／一般入試)	51

様式(本学所定用紙)

- 推薦書(公募制推薦入試) 1枚
- 自己推薦書(公募制推薦入試) 1枚

不正行為の取り扱いについて

入試に関する生成AI(ChatGPTなど)の取り扱いについて

学科・専攻別アドミッション・ポリシー

文学部

●国文学科

①学生に期待すること

国語・国文学の研究を通じて、総合的な思考力を身につけるとともに知性・感性を磨き、社会に貢献できる人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

書物と主体的に向かい合う姿勢や、自身の意見を論理的な文章によって書き表す能力を有すること。また、その前提となる基本的な文章読解力や語彙力が身に付いていることを重視する。

③入学前学習として推奨すること

図書館などを大いに活用し、書物の世界に慣れ親しむこと。また、読後に要点や感想などを書き出してまとめ、思考力と文章力を養うことも推奨する。

教育学部

●教育学科

教育学部では、教員としての専門的知識、総合力、実践力を身に付け、社会や教育界の発展に寄与したいと考えている意欲的な学生の入学を求める。

①学生に期待すること

小学校又は特別支援学校の教員、中学校・高等学校教員(英語)として活躍するために、必要な専門的知識と技能の習得に積極的に取り組むことが求められる。また、教育が直面する諸問題に対応する力を備え、豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた教員を目指して努力することを期待する。

②学生募集に際して重視すること

将来、小学校教員又は特別支援学校教員、中学校・高等学校教員(英語)として、学校教育に携わりたいという強い意欲があり、教育に対する情熱と責任感を有することを重視する。また、自ら進んで他者と協働して課題に取り組むコミュニケーション能力を備えていることも必要である。

③入学前学習として推奨すること

教師として幅広い分野での基本的な学力が必要となるため、高等学校までに学習する教科・科目の基礎的知識と技能を着実に習得しておくことが不可欠である。また、教育問題や教育活動に関心を向けることも重要である。

人間情報学部

●人間情報学科 感性工学専攻

①学生に期待すること

情報デザイン制作と情報システム制作において、人の感性に関する知識と AI(人工知能)技術を活用することにより、AI 時代の情報化社会において STEAM 人材*として活躍する意欲を持つことを期待する。

※STEAM 人材とは、科学的でありつつも、創造的な発想で技術開発や問題解決のできる人材を指す。

②学生募集に際して重視すること

- ・人の感性やユニバーサルデザインの視点から効果的な情報サービス、製品、空間をデザインしたり、人にやさしく豊かなデジタルライフを提案・創造したりすることに関心を持っていること。
- ・AI や IoT、ビッグデータ、ロボット制御の技術を応用してアプリを開発したり、情報システムを構築したりすることに関心を持っていること。
- ・これらの内容について記載された文章や図表を理解できる論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・感性やユニバーサルデザイン、AI、IoT、ビッグデータ、ロボット等のキーワードを含む記事、ならびにそれらが情報サービス、製品、空間のデザインやアプリ・情報システムに活用されている事例について記載された記事に日頃から目を通すこと。
- ・これらの記事の論旨を要約できる力や主張の根拠の妥当性を的確に指摘できる力、ならびに記事内に記された図表が示す意味を読み取る力の向上に努めること。

●人間情報学科 データサイエンス専攻

①学生に期待すること

統計学に基づく伝統的なデータ分析法から機械学習等の AI(人工知能)を駆使した最新のデータ分析法までを修得することで、AI 時代の情報化社会において、データ分析のスペシャリストとして活躍する意欲を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

- ・データ分析の手法を用いて、知覚、行動、感情、性格等の側面から“人”を理解することに関心を持っていること。
- ・マーケティング、エンターテインメント、スポーツ、流通、情報通信、健康、福祉等の多岐に渡る分野に対して、データ分析の知識と技術を応用することに関心を持っていること。
- ・これらの内容について記載された図表や文章を読み解く論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・新聞、雑誌、WEB ページなどに記載された図表を含む記事や広告等に日頃から目を通すこと。
- ・記事や広告等に記載された図表が示す意味を理解する力、図表と説明文章とを関連付けて読み解く力、ならびに読み取った内容を要約して文章にする力の向上に努めること。

●人間情報学科 数学・情報教員養成専攻

①学生に期待すること

- ・数学と AI（人工知能）技術を含む情報学を修得することで、AI 時代の情報化社会において、先進的な中学・高等学校の教育者として活躍する意欲を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

- ・数学と情報分野との関係性を理解することに関心を持っていること。
- ・AI や教育用アプリなどの情報技術を駆使し、これらを教育に活用することに関心を持っていること。
- ・これらの内容について記載された文章や図表を読み解く論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・高校数学（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C）、高校情報Ⅰの基礎を身に付けていること。
- ・AI をはじめとする最新の情報技術やこれらに関する記事の論旨や数理的意味を理解する力、ならびに読み取った内容を要約して文章化できる力の向上に努めること。

心理学部

●心理学科

①学生に期待すること

心理学部では、人間に関わるさまざまな現象に関心を持ち、論理的かつ客観的に分析していく姿勢が求められる。また、人の心の問題について自分なりの考えを持っているだけでなく、異なる意見を持つ人たちと議論しながら考えをまとめていくことも必要となる。こうした学修活動に積極的に取り組むことが期待される。

②学生募集に際して重視すること

心理学部では、自らおこなう心理学の研究を卒業論文という形でまとめる。そのためには、図表などからデータを読み取り、それに基づいて客観的に考え、まとめる力が必要である。また、自分の考えを主張するだけでなく、多角的な視点をふまえた上で他者と議論するコミュニケーションの力も必要となる。さらに、本学心理学部で学ぶことができる内容についても、偏りなく把握しておくことが重要である。

③入学前学習として推奨すること

心理学は、文系・理系といった枠にとらわれない。文章理解力や数学的な分析力はもとより、人間の生物学的な特徴の理解も必要であるし、社会学的な視点も必要である。つまり、高校で学ぶ主要教科の基礎学力をバランスよく確実に身につけておく必要がある。そのため、受験のための教科以外についても、高校までの学習内容を復習しておくことが大切である。

創造表現学部

創造表現学部では、それぞれの専攻の学修を通じて「表現力」「創造力」「コミュニケーション力」を高めることによって、豊かな自己表現ができ、実社会の諸問題にも適切な対処ができる人材の育成を目標にしている。この目標を達成するために、入学者には以下の点を期待する。

●創造表現学科 創作表現専攻

①学生に期待すること

知的財産としての言語文化・表象文化についての興味関心と、それについて深く学ぼうとする意欲とを抱いて入学してほしい。

②学生募集に際して重視すること

本専攻のカリキュラムを理解し、文芸を中心とした創造的な表現活動に携わり得る知識と実践的な表現技術とを修めるのに必要な基礎力を有していること。

③入学前学習として推奨すること

高等学校までの学習範囲の知識・技能の修得。特に、国語の学習や読書を通して、文章を筋道立てて読み取る読解力と、自分の考えを正しく明確に表すことのできる表現力を磨いてほしい。

●創造表現学科 メディアプロデュース専攻

①学生に期待すること

現代のメディア社会の課題に関心を持ち、マスメディアやソーシャルメディアの役割を知ること。そうした社会のなかで、デジタルメディアや映像、情報デザインなどを通じた表現に取り組み、創造的な価値をもたらすクリエイティブな人を目指すこと。

②学生募集に際して重視すること

基礎的な読解力や作文能力、他者とコラボレーションできるコミュニケーション能力、ビジュアル、写真、映像などを用いた表現力を持つことが望ましい。あるいは、これらの能力の向上に前向きであること。

③入学前学習として推奨すること

- ・映像作品や、身の回りにあるデザインなどに興味を持ち、それらがどのように制作されているのか、自ら調べて情報収集する。
- ・社会や表現活動の動向を多角的に見る習慣を身につける。具体的には、関連分野の読書や報道番組の視聴、芸術作品の鑑賞や批評に触れること。

建築学部

建築学部は、建築とその内部空間、建築群を含む都市と地域、周囲環境との関わり方を考え、国や地域の歴史や文化、風土・気候などの多様な観点から将来目指すべき持続可能な建築・都市の未来像を構想する。建築・まちづくり、住居・インテリアデザインを学術的・実践的に学ぶことは、様々な学

問領域を横断的・縦断的に学び応用することでもあることから、従来の思考の枠組みや自身の無意識の限界を自ら越えようという意欲と熱意を持つ学生の入学を期待する。

●建築学科 建築・まちづくり専攻

①学生に期待すること

- ・建築・まちづくりに限らず、様々なモノやコトに対する好奇心と興味・関心を持つこと。
- ・知らないことや知っているつमोरのことを、自身の頭と身体を使って理解しようと心掛けること。
- ・建築やまちづくりを学ぶことを通して自然・環境・工学・芸術・歴史・文化・風土などのつながりを意識し、部分と全体とを同時に見る広い視野を持てるように心掛けること。

②学生募集に際して重視すること

- ・建築や環境・都市の機能や文化など有形無形のモノやコトを創造することに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・建築空間を目的に応じて機能的にしつつ生理的・心理的に心地良くすることに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・既存の建築と周囲の都市・環境に新たな機能と価値を加え、歴史・文化・伝統を継承し再生・発展させることに深い関心と高い情熱を持っていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・建築やまちづくり等にとらわれず、幅広い分野の書籍・文献等をたくさん読み多様な世界に触れること。
- ・年代や場所にとらわれず様々な地域の街並みや建築を訪れ、それらの全体や細部・内部、周囲環境を見るとともに五感で建築空間の環境を感じ取ること。
- ・建築学は文系・理系などの学問分野の枠にとらわれず、様々な分野の学問を学び多様な視点を持つことが求められる。このことを踏まえて、国語や数学における文章理解力や数理的分析力のみならず、環境や歴史、地域・社会への関心など、高校で学ぶ教科・科目の基礎的学力をバランスよく習得すること。

●建築学科 住居・インテリアデザイン専攻

①学生に期待すること

- ・住居・インテリアデザインに限らず、様々なモノやコトに対する好奇心と興味・関心を持つこと。
- ・知らないことや知っているつमोरのことを、自身の頭と身体を使って理解しようと心掛けること。
- ・住居・インテリアデザインを学ぶことを通して自然・環境・芸術・歴史・文化・風土などのつながりを意識し、部分と全体とを同時に見る広い視野を持てるように心掛けること。

②学生募集に際して重視すること

- ・住居の形態や住まい方、空間内部の機能や視覚的

デザインなど有形無形のモノやコトを創造することに深い関心と高い情熱を持っていること。

- ・住居空間を目的や住まい方に応じて機能的にしつつ視覚的・心理的に心地良くすることに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・既存建築の内部空間に新たな機能と価値を加え、歴史・文化・伝統を継承しつつ再生・発展させることに深い関心と高い情熱を持っていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・住居やインテリアデザイン等にとらわれず、幅広い分野の書籍・文献等をたくさん読み多様な世界に触れること。
- ・様々な地域の街並みや建築を訪れ、それらの全体や細部・内部、周囲環境を見るとともに五感で建築空間の環境を感じ取ること。
- ・建築学は文系・理系などの学問分野の枠にとらわれず、様々な分野の学問を学び多様な視点を持つことが求められる。このことを踏まえて、国語や数学における文章理解力や数理的分析力のみならず、環境や歴史地域・社会への関心など、高校で学ぶ教科・科目の基礎的学力をバランスよく習得すること。

健康医療科学部

本学部は、言語聴覚学・言語聴覚障害学、視覚科学・視能学、理学療法学・リハビリテーション療法学、臨床検査学・臨床病態学、救急医療・救急救命学の専門家としての医療人の養成、心身の健康に関する広範な知識をもった教員を含めた生涯健康社会のリーダーの育成、医療や健康科学の現場で活躍する人材の養成を目指している。

上記の目標を達成するために、入学者には次の4点を期待する。

- ①医療を含め、健康維持や健康回復に関する高い関心を有し、将来、こうした分野の専門家として社会貢献する強い意思を有していること。
- ②病気や障がいのある人、高齢者などに対して、「違いを共に生きる」の理念に基づき、尊敬と人権尊重の精神を有し、日常的な生活においても、こうした精神を実践できるような人間性を有していること。
- ③新しい知識や技能の習得に積極的で勉強熱心であり、科学的思考力、論理的思考力、実践的行動力を習得しているか、それらを新たに習得することに積極的であること。
- ④人間関係において、適切な自尊感情を有するとともに、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を習得していること。あるいは、それらを新たに向上させることに積極的であること。

●医療貢献学科 言語聴覚学専攻

①学生に期待すること

言語聴覚士の国家資格をめざす強い意思を持ち、専門領域を学ぶ意欲と情熱を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

自己表現力、読解力、作文能力、論理的思考力を身に付けていることと、豊かなコミュニケーション能力を身に付けていることが重要と考える。

③入学前学習として推奨すること

以下のことを通して言語聴覚士の職務内容などについて情報を得、自らの関心について自覚することが望まれる。

- ・オープンキャンパスへの参加、言語聴覚士の職場見学、ボランティア活動
- ・書籍やマスメディアを用いた言語聴覚障がいに関する情報収集

●医療貢献学科 視覚科学専攻

①学生に期待すること

視覚の研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を習得するとともに、医療にふれる中で健康への安心と人への温かくかつ真面目な姿勢を養い、社会の現場において自己実現をするとともに信頼される人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

本専攻では医療職である視能訓練士の資格取得も目的の一つである。医療職に求められる健康科学への関心と、コミュニケーション能力を重視する。

③入学前学習として推奨すること

日本語能力を含む基礎学力の充実と、広い分野の読書を推奨する。また、ボランティア活動の経験も推奨する。

●医療貢献学科 理学療法学専攻

①学生に期待すること

理学療法士の国家資格取得に向けて、専門領域の知識・技能を学ぶ意欲を持ち、医療や福祉に関する幅広い知見と高い倫理観を有する人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

医療職に求められる高い倫理観と健康科学への関心と、読解力、作文能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視する。

③入学前学習として推奨すること

日本語能力を含む基礎学力の充実と、種々のメディアを活用したグローバルな情報収集能力とボランティア活動を通じた行動力の養成を推奨する。

●医療貢献学科 臨床検査学専攻

①学生に期待すること

臨床検査技師の国家資格取得に向けて、専門領域の知識・技能を学ぶ意欲を持ち、保健・医療・福祉に関する幅広い知見をもとに他者と協働し、医療や医学研究・教育を通して社会へ貢献する人材となろうとする意欲を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

保健・医療・福祉を中心とした人間や社会への関心と、読解力、作文能力、論理的思考力、コミュニケーション能力、積極性、自主性を重視する。

③入学前学習として推奨すること

日本語能力を含む基礎学力の充実と、広い分野の読書やボランティア活動などを通して人間や社会に対する理解を深める活動を推奨する。

●スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻

①学生に期待すること

本専攻は、体と心の健康に関する広範な知識を持った生涯健康社会のリーダーの育成を目指している。健康や運動に関する知識だけでなく、社会の動きにも興味を持ち積極的に学ぶ姿勢を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

心身の健康に関して学ぶ姿勢、社会情勢についての広い関心を持っていること、さらに、自らの健康だけではなく社会に資するために、他者への配慮を心がけることや円滑なコミュニケーションをはかることも重要だと考える。

③入学前学習として推奨すること

教科書的な知識だけでなく、書籍やマスメディアからも広く健康・スポーツ・社会に関して学んでおくことが望まれる。

●スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻

①学生に期待すること

本専攻は、救急救命の専門知識および実践力を身につけ、医療と地域社会の課題解決に貢献できる質の高い救急救命士を育成することを目指している。救急医療に関する知識だけでなく、国内外の社会情勢等にも積極的に興味を持ち、見聞を広め学ぶ姿勢を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

生命を守り、社会に貢献したいという強い信念を持っていること。さらに、救急救命士の資格を取得し、消防、自衛隊、海上保安庁、警察等の地方・国家公務員、医療機関等で活躍したいという強い意欲があることも重要であると考えられる。

③入学前学習として推奨すること

救急救命士として求められる知識や技術を身につけるために、基礎的な学力を有するための事前学習が望まれる。また、メディアや書籍を通して社会や健康に関して広く学んでおくことが推奨される。

食健康科学部

本学部は、食健康科学の知識を有し、「食」と「栄養」の専門家として食品分野や健康分野の現場で活躍する人材の養成を目指している。この目標を達成する

ために、入学者には次の点を期待する。

①学生に期待すること

健康維持や疾病予防における食と栄養の係わりに関して高い関心を有し、将来、「食」と「栄養」の専門家として社会に貢献する強い意志を有していること。

②学生募集に際して重視すること

「食」と「栄養」に関する新しい知識や技能の修得に積極的で向学心が高く、科学的思考力、論理的思考力を修得することに積極的であること。

③入学前学習として推奨すること

人間関係において、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を有していること、あるいは、それらを修得し、向上させることに積極的であること。

●健康栄養学科

①学生に期待すること

「栄養」、「食」の科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、管理栄養士の現場にふれる中で保健・医療・福祉への関心と豊かな人間性を養い、社会の現場において自己実現できる人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

保健・医療・福祉に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢、社会情勢や当該分野に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、自らの健康だけでなく、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。

③入学前学習として推奨すること

高等学校で学ぶ生物、化学の基礎的な知識を身に付けておくことに加え、「健康」、「栄養」、「食」に関する分野の図書や雑誌、新聞記事などを読んでおくこと。

●食創造科学科

①学生に期待すること

食健康科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、創造性や先見性を有した食創造力を持って食産業、健康産業に貢献する人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

「食」と「栄養」に関する専門知識と創造性に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢を有し、「食」や「健康」に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。

③入学前学習として推奨すること

高校卒業レベルの基礎的な知識だけでなく、図書や雑誌、新聞記事などのマスメディアから、「食」、「栄養」、「健康」に関する分野の知識を意欲的に吸収し、自ら考える習慣を身に付けていることが望まれる。

福祉貢献学部

福祉貢献学部は、福祉マインドを培い、福祉的な思考と実践力を身に付け、社会福祉、及び子ども福祉分野で活躍したいと希望する学生を求める。

●福祉貢献学科 社会福祉専攻

①学生に期待すること

社会福祉の仕事に関心をもち、人間や社会について広い視野に立って学ぶとともに、福祉現場での実習や地域活動に主体的に取り組み、実践力を育てることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

様々な人々と関わり援助することに前向きに取り組む姿勢や肯定的な人間関係を育む能力を有すること。また、大学での学びの基盤となる高校等での学習習慣と基礎学力が養われていることを重視する。

③入学前学習として推奨すること

社会福祉の専門職は、人の生活に直面しなければならない。メディア等を通じて生活問題や社会福祉の動向に関心をもち、考える習慣を身につける。また、様々な活動に参加し、主体的な行動力と安定した社会性を培う。

●福祉貢献学科 子ども福祉専攻

①学生に期待すること

保育士や幼稚園教諭の仕事に関心をもち、必要な専門的知識や技術の習得に取り組むこと。人間形成に関わる仕事の重要性を自覚し、個性豊かな保育者をめざして努力することを期待する。

②学生募集に際して重視すること

子どもの成長を援助することに前向きに取り組む姿勢や、肯定的な人間関係を育む能力を有すること。また、大学での学びの基盤となる高校等での学習習慣と基礎学力が養われていることを重視する。

③入学前学習として推奨すること

保育士や幼稚園教諭など子どもの育ちや子育てを支援する専門職には、寛容な人間性と多様な能力が要求される。様々な活動に参加し、主体的な行動力と安定した社会性を培うこと。また、子どもや家庭を取り巻く社会の動向にも目を向ける。

交流文化学部

●交流文化学科 ランゲージ専攻

①学生に期待すること

ランゲージ専攻では、しっかりとした日本語力を基礎に様々な言語や文化の知識そしてコミュニケーション能力の修得を通して、国際社会で活躍したいと考える学生の入学を期待している。

②学生募集に際して重視すること

次のことに関心をもち、個性を伸ばし、自らを磨いて国際協力そして社会の発展に貢献していこうと

する意欲のある人を歓迎する。

- (1) 幅広い視野から異文化を理解する力を身につけたい人。
 - (2) 文化に関する知識、および多言語活用能力をはじめとする異文化コミュニケーション能力の向上を目指す人。
 - (3) 外国語を使用したスピーチ、ライティング、演劇など自己表現、また言語を教育する力を身につけたい人。
- ③入学前学習として推奨すること
- (1) 世界の言語・文化への関心を持ち、自らの基礎的なコミュニケーション能力の向上に努める。
 - (2) 言葉を使用して自らを表現する一方、他の人の自己表現から学ぶ態度を養う。
 - (3) 自らの母語である日本語の知識とスキルを伸ばす。
 - (4) お互いを理解・尊重し合い、他人の喜びを共に喜び合える態度を養う。

●交流文化学科 観光専攻

①学生に期待すること

観光専攻では、産業や政策、地域、人材など、現代の観光を取り巻く環境を多方面からとらえ、持続可能な社会の発展や課題解決に貢献しようとする意志とビジョンを持つ学生の入学を期待している。

②学生募集に際して重視すること

次のことに関心を持ち、個性を伸ばし、自らを磨いていこうという意欲のある人を歓迎する。

- (1) 幅広い視野から観光や観光を取り巻く文化や社会を理解する力を身につけたい人。
 - (2) 好奇心を持って自らの想像力を広げ、物事を探究する力や主体的に行動する力を育み、社会に貢献する力を身につけたい人。
 - (3) ホスピタリティ精神を培い、学び取った知識・経験・実践的スキルを社会に還元する意欲を持つ人。
- ③入学前学習として推奨すること
- (1) 広い視野から現代の観光を眺めるため、地域や国を超えた人の交流や世の中の出来事になえず関心を持ち、情報収集力を身につける。
 - (2) 言語・社会・文化への関心を持ち、観光分野に求められる基礎的なコミュニケーション能力の向上に努める。
 - (3) ささいなことにも関心を持ち、実際に自らの目で物事を見つめる好奇心・探求心を養う。
 - (4) お互いを理解・尊重し合い、ホスピタリティ精神を築き、他人の喜びを共に喜び合える態度を養う。

ビジネス学部

●ビジネス学科

ビジネス学部は、グローバルな視野を持ち、企業

や地域社会と協働しながら、社会に貢献したいと考えている意欲的な学生の入学を求める。

①学生に期待すること

ビジネス学部は、ビジネスの現場で必要となる幅広い知識を修得するための科目を設け、アクティブラーニングによる実践的な授業科目も多く開講している。このような授業を通じ、ビジネスの現場で必要となるさまざまな能力を身につけたいと考える人を歓迎する。

②学生募集に際して重視すること

ビジネス学部では、ビジネスの世界に貢献したいという意欲に加え、ビジネスの現場で必要となる基礎学力と積極的な学修姿勢、多様な考え方と向き合うコミュニケーション力を重視する。

③入学前学習として推奨すること

ビジネス学部の学びは、文系・理系といった枠にとらわれない。文章を正確に読み取り、自らの考えを表現する力に加え、定量的データを用いて分析する力、そして、社会や経済の仕組みを理解する視点も不可欠である。

このため、高校までに学ぶ主要教科の基礎学力を、バランスよく身につけておくことが重要である。受験科目に限らず、高校での学習内容全体を振り返り、基礎を固めておくことを推奨する。

グローバル・コミュニケーション学部

●グローバル・コミュニケーション学科

グローバル・コミュニケーション学部は、英語で考え、英語で情報を発信し、行動する、人・地域・世界の架け橋となる「地球市民」の育成を目標とした学部であり、「実用的な英語コミュニケーション能力を身に付けたい」「英語を使った仕事に就きたい」という学生を求める。

①学生に期待すること

グローバル社会に求められる地球市民になるためには、高度な英語コミュニケーション能力とともに、幅広い教養も必要である。学生には、世界と日本の社会や文化、人間コミュニケーション、グローバルな課題などに関心を持ち積極的に学ぶ姿勢を期待する。

②学生募集に際して重視すること

高度なコミュニケーション能力は、受動的な姿勢で身に付くものではない。すべての学部専門科目が英語のみで開講されるAll Englishの環境のもと、主体的に学ぼうとする意欲と姿勢を重視する。

③入学前学習として推奨すること

高等学校までの英語の学習内容を十分に理解し、定着させておくことが、大学入学後の高度で実践的な英語コミュニケーション能力修得の基礎となる。新聞・書籍・インターネット・テレビなどを通じて、グローバルなトピックに常に関心进行することも重要である。

インターネット出願

1 インターネット出願

出願の流れ ※詳細は次ページ以降を参照してください。

1. 事前準備

- ☐ パソコン環境の準備
- ☐ プリンターの準備
- ☐ メールアドレスの準備
- ☐ 証明写真(顔写真)データの準備
- ☐ 角形2号封筒の準備
- ☐ 出願書類の準備

2. マイページの作成

インターネット出願システム

2026年8月25日(火) 9:00より入力可能

- ☐ メールアドレスの登録
- ☐ 個人情報の登録
- ☐ 証明写真(顔写真)の登録

3. 出願登録

インターネット出願システム

出願初日9:00より入力可能

- ☐ 入試方式、出願学科・専攻等の登録

4. 「インターネット出願確認票」等の印刷

インターネット出願システム

- ☐ インターネット出願確認票の印刷
- ☐ 宛名ラベルの印刷

5. 入学検定料の納入

インターネット出願システム

- ☐ 入学検定料の納入

この段階では出願はまだ完了していません

6. 出願書類の郵送

- ☐ 出願書類・封筒をそろえる
- ☐ 郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送

出願手続完了

7. 受験票・受験番号の取得

インターネット出願システム

- ☐ インターネット出願システム(マイページ)から取得する
 - 受験票は郵送されません。
 - 試験当日は、必ず印刷した受験票を持参してください。

インターネット出願システム

詳細はインターネット出願システムのガイダンスページを参照してください。
ガイダンスページ：<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



2026年8月25日(火)9:00から公開予定です。

マイページ内の「STEP3 出願登録」以降は出願初日9:00から手続が可能になります。

1. 事前準備

(1) パソコン環境の準備

インターネット出願には、インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要となります。インターネット出願システムのガイダンスページで推奨環境を確認してください。

(2) プリンターの準備

出願にあたって、A4用紙で「インターネット出願確認票」「宛名ラベル」「受験票」を受験者自身で印刷する必要があります。ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。自宅にプリンターがない場合は、学校や知人、コンビニエンスストアのプリントサービス等、PDFファイルを印刷できる環境を確認しておいてください。

(3) メールアドレスの準備

マイページの作成にはメールアドレスが必要となります。また、出願の登録確認、入学検定料の入金確認の通知等はすべてメールにて送信されます。必ず受信可能な個人用メールアドレスを準備しておいてください。ドメイン指定受信を設定している場合、「@52school.com」「@asu.aasa.ac.jp」を受信できるよう設定してください。1つのメールアドレスで、複数人の利用はできません。また、受験者1人に対して、必ず1つのメールアドレスを使用してください。

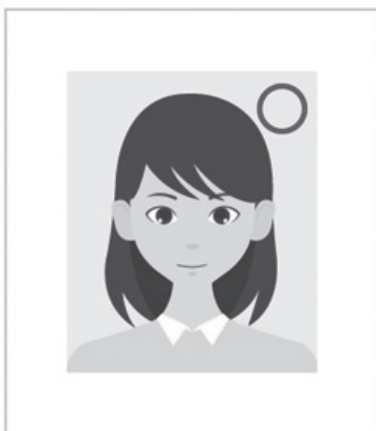
(4) 証明写真(顔写真)データの準備

証明写真(顔写真)は試験当日の本人確認用として使用し、入学後の学生証用写真としても卒業まで使用します。以下の条件を満たす顔写真データ(データ形式: JPEG(拡張子はjpg)、100KB以上、5MB以下)を準備してください。なお、iOS(iPhone等)から登録する場合、「HEIF/HEIC形式(拡張子heif/heic)」でも登録が可能です。証明写真機(写真データのダウンロードや取得ができるもの)、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等を使用して撮影したものでも構いませんが、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。

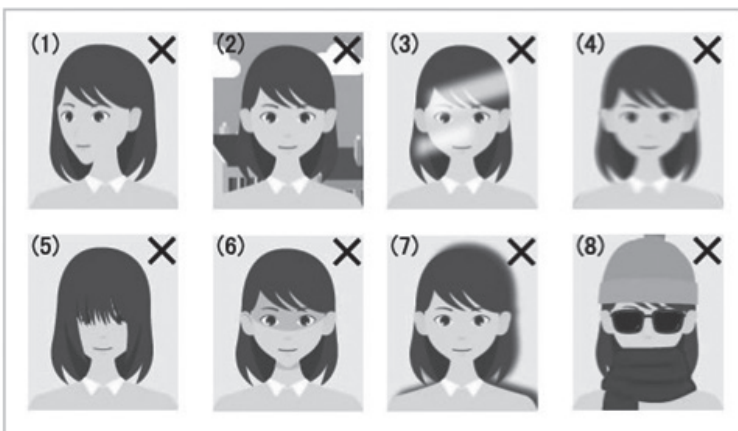
2027年度入試において、すでにインターネット出願登録が完了した証明写真は、変更することはできません。

- ①直近3カ月以内に撮影したもの
- ②カラーのみ可(白黒不可)
- ③上半身・正面、無帽、背景無地(白/青/グレーを基調)、枠なし
- ④本人のみが写っていること
- ⑤私服であること(高等学校等の制服不可)

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



- (1)正面を向いていない(顔が横向き等)
- (2)無背景でない(風景や柄が写っている)
- (3)照明が反射している(顔や眼鏡に光が反射していて一部が見えない)
- (4)ピンボケや手振れにより不鮮明
- (5)前髪が長すぎて目元が見えない
- (6)顔に影がある
- (7)背景に影が写っている
- (8)マフラーやスカーフで輪郭が隠れている

(5)角形2号封筒の準備

出願書類を郵送するために必要です。角形2号サイズ(240mm×332mm)の封筒を準備してください。

(6)出願書類の準備

出願に必要な書類は入試方式により異なりますので、各入試方式の出願書類を確認し、該当する書類を準備してください。

2. マイページの作成 (2026年8月25日 (火) 9:00より入力可能)

下記URL(インターネット出願システムガイダンス)からマイページを作成してログインし、「STEP2 個人情報の登録と確認」より個人情報の登録と証明写真(顔写真)の登録をおこなってください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

3. 出願登録 (出願初日9:00より入力可能)

下記URL(インターネット出願システムガイダンス)からマイページにログインし、「STEP3 出願登録」より出願登録してください。画面の案内に従って、出願する入試方式、学科・専攻等を選択してください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

4. 「インターネット出願確認票」等の印刷

出願登録完了後、「インターネット出願確認票」および「宛名ラベル」を印刷(カラー・白黒どちらでも可)し、登録した内容および正しく印刷されていることを必ず確認してください。「インターネット出願確認票」は2部(出願用・本人保管用)印刷し、「宛名ラベル」は出願書類を封入する封筒に貼付してください。

注意

例年、入学検定料納入後、志望学科・専攻等の入力ミスに気づく例があります。入学検定料納入後の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は一切認められませんので、入学検定料納入前に必ず確認してください。

5. 入学検定料の納入

マイページ「STEP3 出願登録」の登録完了画面より入学検定料のお支払いサイトへ移動後、下記からお支払い方法を選択し、入学検定料を納入してください。支払い完了後は「入学検定料の入金確認の通知」がメールで送信されますので確認してください。メールのセキュリティ設定等によりメールが届かない場合はマイページの「STEP4 出願内容の確認」で「お支払い状況」を確認することができます。支払いの際に発行される領収書(レシート)、受領書またはご利用明細書は、出願書類として提出する必要はありません。大切に保管してください。なお、STEP3の画面を閉じた後は、「STEP4 出願内容の確認」画面より入学検定料のお支払いサイトへ移動し、入学検定料を納入することができます。

<クレジットカード>

カードの名義は、受験者本人でなくても構いません。

出願登録後に別画面で「クレジットカード」支払を選択し、決済を完了してください。

※使用できるクレジットカードは「VISA」「MasterCard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」のいずれかです。



<コンビニエンスストア>

支払いに必要なお支払い情報を取得後、印刷した「払込票」または各種番号の控えを持参し、以下のコンビニエンスストアで入学検定料を支払います。お支払い情報は、支払いをする際に必要となりますので、必ずメモをとるか印刷してください。

※お支払いは現金のみです。



レジで「インターネット代金支払」または「オンライン決済」であることを店員に伝え、請求内容を確認のうえ、支払ってください。

<銀行ATM(Pay-easy)> <ネットバンキング>



銀行ATMによる支払いは、Pay-easy(ペイジー)に対応した銀行のみで可能です。

ゆうちょ銀行ATM、ペイジー対応銀行のATMおよびネットバンキングが利用可能です。

※窓口での支払いはできません。

※コンビニエンスストアに設置されているATMは利用できません。

注意

- ・入学検定料の他にサービス利用料(一律990円)が必要となります。
- ・複数回に分けて出願登録(STEP3)をする場合は、サービス利用料が各回それぞれに必要となります。
- ・いったん納入された入学検定料は、返還しません。ただし、「入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合」「入学検定料を納入し出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合」「入学検定料を誤って過剰に納入した場合」に限り、入学検定料(サービス利用料を除く)を返還しますので、アドミッションセンターへ問い合わせてください。

6. 出願書類の郵送

出願書類を市販の角形2号サイズ(240mm×332mm)の封筒に入れ、出願登録完了後にマイページより印刷した「宛名ラベル」を封筒に貼付し、郵便局窓口から「速達・簡易書留」で出願期間内に郵送してください。

＜郵送先＞

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

注意

- ・出願後(入学検定料納入後)の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。
- ・いったん提出された出願書類は、返還しません。
- ・郵便局窓口で発行される書留の「受領書」は、必ず保管してください。

7. 受験票・受験番号の取得

下記URLからマイページにログインし、「オンライン受験票」より受験票(PDF)を取得してください。受験票の郵送はしません。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

＜取得開始日＞

入試方式	取得開始日	
公募制推薦入試	2026年11月10日(火) 10:00	受験票(要印刷)
一般入試 (前期3教科型・前期2教科型・共通テストプラス型)	2027年1月23日(土) 10:00	受験票(要印刷)
共通テスト利用入試 (前期3教科型・前期4教科型)	2027年1月29日(金) 10:00	受験番号
一般入試(後期)	2027年3月2日(火) 10:00	受験票(要印刷)
共通テスト利用入試(後期)	2027年3月5日(金) 10:00	受験番号

※受験票は2027年4月23日(金)までの公開です。

【受験票】

- (1) 受験票の記載内容を確認し、A4サイズのコピー用紙に印刷のうえ、試験当日に必ず持参してください。
- (2) 受験票には裏面も含め、一切の書き込みを禁止します。
- (3) 一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕で「英語の資格・検定試験」のスコアの利用を申請(P.29参照)し、受理された場合、受験票には「英語【免除】」と表示しています。
- (4) 共通テスト利用入試は、受験票はありません。受験番号の確認のみできます。

注意

出願後(入学検定料納入後)の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。

＜受験票サンプル＞

A4判

公募制推薦入試 学校推薦型選抜

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		15名
教育学部	教育学科		22名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	22名
		データサイエンス専攻	12名
		数学・情報教員養成専攻	4名
心理学部	心理学科		30名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	16名
		メディアプロデュース専攻	22名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	11名
		住居・インテリアデザイン専攻	10名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	7名
		視覚科学専攻	7名
		理学療法学専攻	7名
		臨床検査学専攻	7名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	16名
		救急救命学専攻	6名
食健康科学部	健康栄養学科		13名
	食創造科学科		21名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	14名
		子ども福祉専攻	8名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	24名
		観光専攻	16名
ビジネス学部	ビジネス学科		36名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		12名

- 数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

出願期間	2026年11月2日(月)～11月7日(土) 締切日消印有効 〈アドミッションセンター持参受付〉 2026年11月8日(日)のみ 9:00～13:00 ※出願登録および入学検定料納入が11月7日(土)までに完了している場合のみ。	
受験票の取得	2026年11月10日(火)10:00～ (P.11参照)	
試験日	2026年11月14日(土)・11月15日(日)【試験日自由選択】 ※同一学科・専攻の両日受験も可能	
試験会場	星が丘キャンパス (P.19参照)	
合格発表日	2026年12月1日(火) インターネットによる合否照会のみ(合格通知書は発送しません) 〈合否照会可能期間 (P.19参照)〉 2026年12月1日(火) 10:00～12月7日(月) 23:59	
合格通知書／振込依頼票／ 入学手続要項の印刷	2026年12月1日(火)10:00～2027年3月31日(水)23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください (P.20参照)。	
入学手続時納入金 締切日	第1次手続	2026年12月8日(火) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。
	第2次手続	2027年3月10日(水) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。 ※3月11日(木)から3月24日(水)に合格発表(補欠合格、追加合格を除く)を実施する大学を受験する方は、入学手続を延期する制度があります (P.20参照)。

志願者速報 出願状況を「受験生サイト」に掲載します。



3 出願資格

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解したうえで、次の①～⑥のいずれかに該当し、学校長から推薦を受けた者。かつ、数学・情報教員養成専攻については、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修している者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を2026年9月卒業、または2027年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育(特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次)を2026年9月修了、または2027年3月修了見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を2026年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2026年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを2026年9月修了、または2027年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに修了見込みの者

事前にP.13の出願資格(③、⑥)の確認を希望する者は、アドミッションセンターまでご連絡ください。そのうえで、2026年10月2日(金)〈必着〉までに、①～④の書類をアドミッションセンターへ郵送してください。

- ①出願資格申請書(本学所定用紙：用紙は後日送付)
- ②卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書の写し
- ③学業成績証明書(履修した教科・科目および成績、修得した単位数を証明する書類)の写しまたは調査書(原本)で、当該教育施設の在学期間がわかるもの
- ④当該教育施設の教育内容などを証明できるものの写し(学則、カリキュラム、修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの)

〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学 アドミッションセンター
『出願資格確認書類 在中』

- ・複数の教育施設に在籍した場合は、できるだけ事前に出願資格を確認してください(上記②③④を在籍した教育施設からそれぞれ直接発行してもらい提出してください)。
- ・外国の教育制度に基づく教育施設を修了(修了見込み)の者で、教育を受けた国・地域の教育制度において大学に進学するために通常必要な大学入学試験・統一試験を受験した者は、その成績評価証明書も提出してください。
- ・卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書および学業成績証明書は、日本語または英語で作成されたものを提出してください。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明(出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの)を添付してください。
- ・出願資格結果については、全員に郵送で通知します。出願資格が認められた者には、「愛知淑徳大学出願資格認定書」を同封します。

※出願の際は、必ず「愛知淑徳大学出願資格認定書」の写しを、出願書類に添付してください。また、上記②③は、原本または、証明書を発行した教育施設が原本から正しく複製されたことを証明したCertified True Copyを提出してください(調査書は原本のみ)。

＜受験上および修学上の合理的配慮＞

障がい等のため、受験上および修学上の配慮を必要とする方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

本学では、視覚・聴覚および肢体不自由等の障がいのある方が出願する場合は、必要に応じて入学後の学修体制の説明をおこなうための面談を実施しており、面談での内容をご了解いただいたうえで出願をお願いしています。

出願を希望する方は、2026年10月2日(金)までにアドミッションセンターへご連絡ください。期日後の申し出については、受験時の配慮ができない場合があります。

受験上の配慮に関する一般的な例

補聴器または人工内耳の装用、文書による注意事項の伝達、試験時間中の薬の服用、拡大文字問題冊子配付、チェック解答、点字解答、座席を試験室の出入口付近に設定、別室の設定など

■ 手続方法

出願を希望する方は、期日までにアドミッションセンターへご連絡ください。面談を実施する場合は、日時を調整し、あらためてご連絡します。その後、「受験上の配慮申請書」を郵送しますので、医師の診断書等を添えて必要事項を記入のうえ、アドミッションセンターまでご返送ください。

■ 注意

- ・日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から配慮が必要となりますので、必ず申請してください。
- ・出願後の不慮の事故などにより、受験時に配慮を必要とする場合も、速やかに問い合わせてください。

TEL(052)781-7084(直通)
平日/9:00～17:00(土・日・祝日は電話受付をしていません)

4 出願書類

1	インターネット出願確認票	出願登録完了後、A4サイズで印刷する（P.7「インターネット出願」参照）
2	調査書	1 2 回 日 の 受 郵 験 送 の に つ 場 き 合 き 合 も 通 通 封 封 入 入 出身高等学校作成で厳封されたもの ただし、出願資格③の該当者（P.13「出願資格」を参照）は以下の書類を提出する。 「卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書*」と「学業成績証明書*」 *日本語または英語で作成されたものとします。日本語・英語以外で記載されている場合は、 翻訳証明（出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの）を添付してください。
3	学校長の推薦書	
4	自己推薦書	

- ・2日間出願する場合、1つの封筒に入れて郵送する際は出願書類2～4は1通で結構です。
- ・出願書類提出後、追加出願する場合は、上表1～4の書類が改めて必要になります。

5 入学検定料（1出願につき）

- 初回検定料 **25,000円**
- 2回目以降の検定料 **5,000円**（大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科・専攻適性入試、
公募制推薦入試を通して、2回目以降は**5,000円**）

	初めて出願する場合	大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、 学科・専攻適性入試に出願した場合
1日受験	25,000円	5,000円
2日受験	30,000円	10,000円

6 注意点

- 1日に受験できるのは、1つの学科・専攻です。
- 同一学科・専攻および異なる学科・専攻の2回（2日間）の受験が可能です。
- 出願時に試験日、受験学科・専攻、受験科目を選択します。
- 出願資格として「学習成績の状況」は問いません。ただし、学校長の推薦が必要です。
- 他大学との併願が可能です。
- 出願時に申告した科目を受験してください。申告した科目を受験しなかった場合および申告した科目以外を受験した場合は、失格による不合格となります。

併願のモデルケース

※1日につき、1つの学科・専攻の受験となります。

- 行きたい学科・専攻が決まっている

同一学科・専攻の
2日間の受験も可能です

11/14（土）		11/15（日）
ビジネス学科	+	ビジネス学科

- 「ことば」の力を高めたい

11/14（土）		11/15（日）
創作表現専攻	+	国文学科

7 試験時間割

※P.17～P.18の「受験上の注意」を必ず確認してください。

時限	科目	入室完了時刻	試験時間
1限	小論文	9:10	9:30～10:30
2限	国語	11:25	11:45～12:45
3限	英語	13:40	14:00～15:00
4限	数学	15:35	15:50～16:50

8 選抜方法・試験教科(科目)・配点

試験時間 各60分

全問マーク式(国語・英語・数学)

全学科・専攻共通問題

学科・専攻	選抜方法				満点 1+2+3
	1 調査書 [学習成績の 状況]	2 自己 推薦書	3 教科	配点	
数学・情報教員養成専攻	25点	5点	数 学	必須100点	230点
			国 語	1科目選択 100点	
			英 語		
			小論文		
グローバル・コミュニケーション学科	25点	5点	英 語	必須100点	230点
			国 語	1科目選択 100点	
			数 学		
			小論文		
国文学科／教育学科／感性工学専攻／データサイエンス専攻 心理学科／創作表現専攻／メディアプロデュース専攻 建築・まちづくり専攻／住居・インテリアデザイン専攻 言語聴覚学専攻／視覚科学専攻／理学療法専攻 臨床検査学専攻／スポーツ・健康科学専攻／救急救命学専攻 健康栄養学科／食創造科学科／社会福祉専攻／子ども福祉専攻 ランゲージ専攻／観光専攻／ビジネス学科	25点	5点	国 語	2科目選択 各100点	230点
			英 語		
			数 学		
			小論文		

[注] ・出願時に受験科目を決定し、申告する。

・日程や科目間の格差を是正するため、「中央値補正法」による点数調整をおこなう。詳細はP.51参照。

- ・高等学校で身につけた基礎学力や思考力を評価する入試です。
- ・小論文は、社会で話題になっているテーマを取り上げ、出題します。課題の意図を十分に理解したうえで、自分の考えを説得力のある論理的な文章にまとめあげているかどうかを判定するものです。

【小論文の評価ポイント】

- (1) 要求されている課題に応えているか。
- (2) 筋道を立てて論理を展開させているか。
- (3) 誤字・脱字はないか、丁寧に書かれているか、適切な語彙や表現が使われているか。

出題範囲

教科(科目)
国 語：「現代の国語、言語文化(古文・漢文は含まない)」
英 語：「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ」
数 学：「数学Ⅰ、数学A」

※『入試問題集2027(活動実績入試、学科・専攻適性入試、公募制推薦入試)』を参考にしてください。

9 合否判定の方法および基準について

調査書「学習成績の状況」、自己推薦書、個別学力試験、小論文の評価に基づいて、総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

※総合点は科目間の平均点の差の大小に関わらず、個別学力試験の全科目で「中央値補正法」による得点調整をおこないます。

10 受験上の注意

1. 試験会場

星が丘キャンパス(P.19参照)

- ・ 2026年11月13日(金)の15:00から17:00まで試験会場の下見が可能です。ただし、試験室への入室はできません。
- ・ 試験会場へは、試験当日および前日の下見の際も、公共交通機関を利用してください。送迎を含め、車での来校は固くお断りします。

2. 試験時間割

時限	科目	入室可能時間	入室完了時刻	試験時間
1限	小論文	8:30～	9:10	9:30～10:30
2限	国語	10:45～	11:25	11:45～12:45
3限	英語	13:00～	13:40	14:00～15:00
4限	数学	15:15～	15:35	15:50～16:50

3. 試験当日の注意

(1) 入退場について

- ① 試験会場は8:30から入場することができます。
- ② 各科目の入室完了時刻までに入室・着席してください。遅刻した場合は、試験開始後20分以内であれば受験できますので、速やかに入室してください。ただし、試験時間は延長しません。
- ③ 受験しない科目の試験時間中は、試験室には入室できません(受験者控室を用意します)。
- ④ 試験室への入室可能時間は、「2. 試験時間割」で確認してください。入室可能時間まで各試験室には入室できません。また、試験室の前の廊下で待つこともできません。受験者控室で待機してください。
- ⑤ 試験開始後の途中退室は認めていません。
- ⑥ 携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切って、かばんの中に入れてください。
- ⑦ 試験会場へは、公共交通機関を利用してください。
- ⑧ 付添の方は、試験会場(キャンパス内)に入ることはできません。

(2) 所持品について

- ① 受験票：インターネット出願システム(マイページ)から取得し、A4サイズのコピー用紙に印刷したものを必ず持参してください。
- ② 受験上の注意：P.17～P.18の「受験上の注意」は印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
- ③ 時計：試験室には時計がありませんので、各自持参してください。
- ④ 昼食：必要に応じて各自持参してください。
- ⑤ 筆記用具等：詳細は次ページの表を参照してください。

机の上に置けるもの(使用できるもの)	使用できないもの*
・受験票 ・HBの黒鉛筆(英文や和歌・格言などが書かれていないもの) ・鉛筆キャップ ・シャープペンシルと替えの芯 ・消しゴム ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く) ・時計 〔辞書や電卓、端末機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く〕 ・眼鏡、目薬 ・ハンカチ、ティッシュペーパー(袋から中身だけ取り出したもの)	・電卓 ・定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む) ・コンパス ・携帯電話 ・スマートフォン ・ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等) ・タブレット端末 ・電子辞書 ・ICレコーダー ・電動式鉛筆削り ・下敷き ・耳栓、イヤホン、ヘッドホン
<監督者の許可を得てから使用するもの> ・座布団、クッション ・ひざ掛け(コートをひざ掛けとして使用する場合も含む)	

* 昼食休憩の時間および受験者控室内を除き、入室完了時刻から試験が終了し試験室を出るまで使用できません。これらのものを身に着けていたり、手に持っていたりすると不正行為となる場合があります。

※上履きは必要ありません。

(3) 受験科目の変更について

必ず出願時に申告した科目を受験してください。試験当日、受験科目の変更はできません。申告した科目を受験しなかった場合および申告した科目以外を受験した場合は、失格による不合格となります。

(4) 解答上の注意

- ① 解答には、「HBの黒鉛筆またはシャープペンシル」「消しゴム」を使用してください。ただし、シャープペンシルは、マーク式解答用紙には使用できません。
- ② 問題冊子に落丁・乱丁、印刷不鮮明等の不備がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

(5) 試験時間中の注意

- ① 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- ② 原則として、試験終了まで退室は認めません。体調不良、トイレ等やむを得ない場合は、手を挙げてください。途中退室しても、試験時間の延長はありません。
- ③ 試験時間中に日常的な生活騒音(監督者の巡回による足音・試験監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者のせき・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも、時間延長等の救済措置はおこないません。
- ④ 英文字や地図等がプリントされている衣服は着用しないでください。

(6) その他の注意

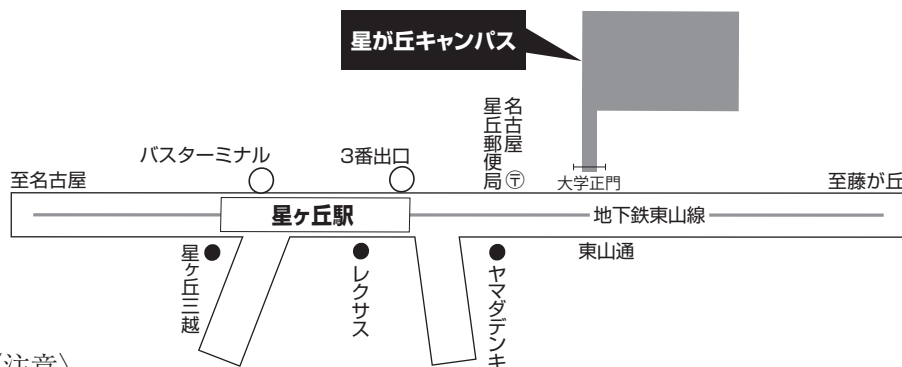
- ① 学内の食堂、売店は営業していません。
- ② 試験当日、試験室の換気のための窓の開放等をおこなう時間帯があります。各自で防寒のために上着などを持参してください。

〈学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項〉

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡など)に罹患して治療していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため、受験できません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験や再試験等の措置、および入学検定料の返還はおこないません。試験当日の体調管理には十分に注意してください。

11 試験会場(星が丘キャンパス)案内

地下鉄東山線「星ヶ丘駅」3番出口より徒歩約3分



星が丘キャンパス
名古屋市千種区桜が丘23
TEL (052) 781-1151 (代表)

〈注意〉

- ・試験会場に駐車スペースはありませんので、公共交通機関でお越しください。また、近隣の方の迷惑となりますので、送迎を含め、車での来校は固くお断りします。
- ・試験当日は、スクールバスおよびキャンパス間の連絡バスは運行しません。

12 合格発表(インターネットによる合否照会)

1. 合否結果は、合格発表当日の午前10時から、インターネット出願システムのマイページ内「合否結果」から確認してください。ログインする際、マイページログイン用「メールアドレス」「パスワード」が必要となります。
2. 本学での掲示発表や郵送による合格通知はおこないません。
3. 合格した場合、インターネット出願システムのマイページ内「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から必要書類を印刷してください(P.19「入学手続」参照)。
4. 合否結果に関する問い合わせには、応じません。
5. 高等学校長には受験者の合否結果を郵送で通知します。

マイページログインURL

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



- ※大学WEBサイトからもアクセスできます。
- ※マイページ内「合否結果」から合否を確認してください。

〈合否照会可能期間〉

2026年12月1日(火) 10:00～12月7日(月) 23:59

注意

- ・合否照会開始直後は混み合うため、つながりにくい場合があります。
- ・合否照会の「誤操作」「見間違い」などを理由とした、入学手続締切日後の入学手続は認めません。

13 入学手続

入学手続は、「入学手続時納入金の納入」および「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」によって完了します。入学手続を所定の期間内に完了しない方は、入学の意思のないものとみなし、入学を認めません。「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」については、3月初旬発送予定の「新入生のしおり」で案内します。

〈入学手続時納入金の納入〉

マイページより「振込依頼票」を印刷し、「入学手続要項」で詳細を確認のうえ、所定の期日までに入学手続時納入金を納入してください。期日までに手続をおこなわなかった場合は、入学資格を失います。

※第2次手続は、第1次手続を完了した者のみおこなうことができます。

下記URLからマイページにログインし、「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から印刷をしてください。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

〈印刷可能期間〉

2026年12月1日(火)10:00～2027年3月31日(水)23:59

1. 本学から合格通知書、振込依頼票、入学手続要項の郵送はおこないません。今後の手続については、入学手続要項と3月初旬発送予定の「新入生のしおり」で確認してください。
2. 所定の期日までに入学手続が完了しない場合は入学資格を失います。
3. 合格者であっても、「誤操作」「見間違い」「未確認」などを理由とした締切日後の入学手続は認めません。
4. 入学金を除く授業料、教育充実費、その他徴収金については、指定の用紙に必要事項を記入したうえで2027年3月31日(水)〈必着〉までに入学辞退の申し出があった場合に限り返還します。
※入学手続完了後の入学辞退に関する必要事項は、「入学手続要項」で確認してください。
5. 入学しない場合でも納入された入学金(第1次納入金)は返還しません。

● 外国人の合格者へ

入学時には「留学」ビザが必要です(ただし、すでに「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」などの有効な在留資格を持っている方は除きます)。新規で「留学」の在留資格申請が必要な方や、入学までに在留期間更新の手続が必要な方は、可否結果を確認後、本学国際交流センター〈TEL(052)783-1590(直通)〉に連絡してください。

■入学手続(第2次納入金)の延期について

以下の①または②の場合に限り、所定の手続により入学金(第1次納入金)を納めたうえで、入学手続(第2次納入金)の延期を願い出ることができます。

- ①他大学を受験し、その合格発表(補欠合格、追加合格を除く)が2027年3月11日(木)から3月24日(水)の間に定められている場合
- ②本学の一般入試〔後期〕または共通テスト利用入試〔後期〕で他の学科・専攻を受験する場合

※詳細は、合格者に案内する「入学手続要項」で確認してください。

■入学金(第1次納入金)の振り替えについて

1. 公募制推薦入試の入学金(第1次納入金)を納入した方で、一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕、共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕のいずれかで他の学科・専攻に合格し、入学する学科・専攻を変更する場合は、入学金の振り替えが可能です。
2. 公募制推薦入試の入学金(第1次納入金)を納入し、入学手続(第2次納入金)の延期を願い出た方で、一般入試〔後期〕、共通テスト利用入試〔後期〕のいずれかで他の学科・専攻に合格し、入学する学科・専攻を変更する場合は、入学手続時納入金は一括納入となっているため、期日までに一旦全額を納めてください。納金確認後に、公募制推薦入試の入学金を返還します。

※詳細は、一般入試・共通テスト利用入試の合格者に案内する「入学手続要項」で確認してください。

一般入試／共通テスト利用入試 一般選抜

共 通 ①

1 入試日程

入試方式		出願期間 (締切日消印有効)	試験日・試験会場	合格発表日	入学手続時納入金 締切日
前期日程	一般入試 〔前期3教科型〕	1/6(水)～1/20(水)	2/1(月)・2(火)・ 4(木)・5(金)・6(土) 【試験日自由選択】 2/1・2・4・5・6 星が丘キャンパス・ 岐阜・浜松・四日市	2/17(水)	第1次手続 2/24(水)
	一般入試 〔前期2教科型〕		2/1・2 松本・金沢・豊橋		第2次手続 3/10(水)
	前期3教科型または前期2教科型 同時出願 必須 一般入試 〔共通テストプラス型〕				
	共通テスト利用入試 〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕	1/6(水)～1/26(火)	個別試験は実施しません。		※3月11日(木)から3月 24日(水)に合格発表 (補欠合格、追加合格 を除く)を実施する大 学を受験する方は、入 学手続を延期する制 度があります(P.46参 照)。
後期日程	一般入試〔後期〕 (1教科型)	2/17(水)～2/25(木)	3/8(月) 星が丘キャンパス	3/17(水)	3/24(水) 〔一括納入〕
	共通テスト利用入試〔後期〕 (2教科型)	2/17(水)～3/2(火)	個別試験は実施しません。		

志願者速報 出願状況を「受験生サイト」に掲載します。



2 併願パターン

前期日程

2/1(月)	2/2(火)	2/4(木)	2/5(金)	2/6(土)
前期3教科型	前期3教科型	前期3教科型	前期3教科型	前期3教科型
+	+	+	+	+
前期2教科型	前期2教科型	前期2教科型	前期2教科型	前期2教科型
+	+	+	+	+
共通テスト プラス型	共通テスト プラス型	共通テスト プラス型	共通テスト プラス型	共通テスト プラス型

- 1日につき、1つの学科・専攻の受験となりますが、試験日が異なれば、複数学科・専攻の併願が可能です。
- 1日に、前期3教科型と前期2教科型の両方の入試方式を出願できます(同一学科・専攻に出願する場合に限る)。
- 前期3教科型または前期2教科型で出願する試験日、学科・専攻に対して、共通テストプラス型を併願できます。

+

共通テスト
利用入試
前期3教科型

+

共通テスト
利用入試
前期4教科型

- 全学科・専攻を併願できます。
- 3・4教科型を併願できます。

後期日程

3/8(月)				
後期				
1限 国語	+	2限 英語	+	3限 数学
数学・情報教員養成専攻、 グローバル・コミュニケーション学科 以外の学科・専攻		国文学科、数学・情報教員養成専攻 以外の学科・専攻		国文学科、 グローバル・コミュニケーション学科 以外の学科・専攻
			共通テスト 利用入試 後期	すべての 学科・専攻

●3教科を受験することで、同一学科・専攻の3回の併願が可能です(国文学科、数学・情報教員養成専攻、グローバル・コミュニケーション学科を除く)。

●1教科を受験することで、複数の学科・専攻を併願できます(数学・情報教員養成専攻を除く)。

※3限「数学」の受験では、数学・情報教員養成専攻とそれ以外の学科・専攻を併願することはできません(教科の出題範囲が異なるため)。

3 入学検定料

表Ⅰの中で初回検定料25,000円の入試に出願した方は、2回目以降は1出願につき5,000円の出願できます。

表Ⅱの共通テスト利用入試を初回出願とした方は、一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔後期〕の1回目の検定料は25,000円です。

I

入試方式		初回検定料	2回目以降の検定料
大学理念・違いを共に生きる入試		25,000円	1出願につき 5,000円
活動実績入試			
学科・専攻適性入試			
公募制推薦入試			
一般入試	前期3教科型	—※	
	前期2教科型		
	後期		
	共通テストプラス型		

※共通テストプラス型は、前期3教科型または前期2教科型に併願する入試です。

入試方式		検定料
共通テスト 利用入試	前期3教科型	1出願につき 5,000円
	前期4教科型	
	後期	

4 出願資格

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、次の①～③のいずれかに該当する者。かつ、数学・情報教員養成専攻については、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修している者。

※共通テストプラス型に出願する者は、「令和9年度大学入学共通テスト」の教科(科目)のうち、本学が指定した教科(科目)の受験者で、かつ本学一般入試前期3教科型または前期2教科型に出願する者

※共通テスト利用入試に出願する者は、「令和9年度大学入学共通テスト」の教科(科目)のうち、本学が指定した教科(科目)を受験していること

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育(特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次)を修了した者および2027年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条各号のいずれかに該当し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者、またこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者および2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達する者(大学入学資格検定に合格した者を含む)
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに18歳に達する者

※個別の入学資格審査を希望する者は、下記の期日までにアドミッションセンターへお問い合わせください。

一般入試(共通テストプラス型) 共通テスト利用入試(前期3教科型・前期4教科型・後期)	2026年9月4日(金)
一般入試(前期3教科型・前期2教科型)	2026年11月27日(金)
一般入試(後期)	2027年1月8日(金)

注1) ③(5)の、高等学校卒業程度認定試験の合格者および同見込みの者(大学入学資格検定合格者を含む)が受験する場合は、出願時に「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」が提出できる者とします。

注2) 本学卒業生は、卒業時の同一学部・学科への学士入学を原則として認めません。

事前にP.23 の出願資格③の(1)～(4)の確認を希望する者は、アドミッションセンターまでご連絡ください。そのうえで、以下の期日までに、①～④の書類をアドミッションセンターへ郵送してください。

- ①出願資格申請書(本学所定用紙：用紙は後日送付)
- ②卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書の写し
- ③学業成績証明書(履修した教科・科目および成績、修得した単位数を証明する書類)の写しまたは調査書(原本)で、当該教育施設の在学期間がわかるもの
- ④当該教育施設の教育内容などを証明できるものの写し
(学則、カリキュラム、修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの)

郵送先 〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学 アドミッションセンター
『出願資格確認書類 在中』

提出期限	一般入試(前期3教科型・前期2教科型・共通テストプラス型)	2026年11月27日(金)〈必着〉
	共通テスト利用入試(前期3教科型・前期4教科型)	
	一般入試(後期)	2027年1月8日(金)〈必着〉
	共通テスト利用入試(後期)	

- ・複数の教育施設に在籍した場合は、できるだけ事前に出願資格を確認してください(上記②③④を在籍した教育施設からそれぞれ直接発行してもらい提出してください)。
 - ・外国の教育制度に基づく教育施設を修了(修了見込み)の者で、教育を受けた国・地域の教育制度において大学に進学するために通常必要な大学入学試験・統一試験を受験した者は、その成績評価証明書も提出してください。
 - ・卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書および学業成績証明書は、日本語または英語で作成されたものを提出してください。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明(出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの)を添付してください。
 - ・出願資格結果については、全員に郵送で通知します。出願資格が認められた者には、「愛知淑徳大学出願資格認定書」を同封します。
- ※出願の際は、必ず「愛知淑徳大学出願資格認定書」の写しを、出願書類に添付してください。また、上記②③は、原本または、証明書を発行した教育施設が原本から正しく複製されたことを証明したCertified True Copyを提出してください(調査書は原本のみ)。

<受験上および修学上の合理的配慮>

障がい等のため、受験上および修学上の配慮を必要とする方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

本学では、視覚・聴覚および肢体不自由等の障がいのある方が出願する場合は、必要に応じて入学後の学修体制の説明をおこなうための面談を実施しており、面談での内容をご了解いただいたうえで出願をお願いしています。

出願を希望する方は、2026年12月4日(金)までにアドミッションセンターへご連絡ください。期日後の申し出については、受験時の配慮ができない場合があります。

受験上の配慮に関する一般的な例

補聴器または人工内耳の装用、文書による注意事項の伝達、試験時間中の薬の服用、拡大文字問題冊子配付、チェック解答、点字解答、座席を試験室の出入口付近に設定、別室の設定など

■ 手続方法

出願を希望する方は、期日までにアドミッションセンターへご連絡ください。面談を実施する場合は、日時を調整し、あらためてご連絡します。その後、「受験上の配慮申請書」を郵送しますので、医師の診断書等を添えて必要事項を記入のうえ、アドミッションセンターまでご返送ください。

■ 注意

- ・日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から配慮が必要となりますので、必ず申請してください。
- ・出願後の不慮の事故などにより、受験時に配慮を必要とする場合も、速やかに問い合わせてください。

TEL(052)781-7084(直通)

平日/9:00～17:00(土・日・祝日、12月26日～1月5日は電話受付をしません)

5 出願書類

入試方式	インターネット 出願確認票	調査書	「英語の資格・検定試験」の スコア取得の証明書コピー (P.29参照)	令和9年度共通テスト 成績請求チケット (私立大学用)
		複数受験の場合でも、1回の郵送につき1通封入		
一般入試 (前期3教科型・前期2教科型・ 共通テストプラス型)	●	●	● (該当者のみ)	● 共通テストプラス型を 併願する場合のみ必要
一般入試(後期)	●	●	—	—
共通テスト利用入試 (前期3教科型・前期4教科型・後期)	●	●	—	●

- ・一般入試と共通テスト利用入試を同時に出願する場合、1つの封筒に入れて郵送することができます(この場合、調査書は1通で結構です)。ただし、出願締切日が異なりますので注意してください。
- ・出願書類提出後、追加出願する場合は、上表の書類が改めて必要になります。

インターネット出願確認票	出願登録完了後、A4サイズで印刷する (P.7「インターネット出願」参照)
調査書 複数受験の場合でも、 1回の郵送につき1通封入	出身学校作成で厳封されたもの 卒業見込みの者…2026年10月1日以降に発行されたもの 既卒者……………2026年4月1日以降に発行されたもの ※卒業後6年以上経過している者は卒業証明書。数学・情報教員養成専攻への出願者は単位修得証明書もあわせて提出してください。 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む) 合格者……………合格成績証明書(厳封されたもの) 合格見込みの者…合格見込成績証明書(厳封されたもの) ※文部科学省の申請書類受付から、発行・発送するまで1～2週間程度かかります。 早目に手続きしてください。 その他の者：卒業(見込)証明書、学業成績証明書 ・提出書類は日本語または英語で作成されたものとします。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明(出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの)を添付してください。
「英語の資格・検定試験」の スコア取得の証明書コピー 複数受験の場合でも、 1回の郵送につき1通封入	一般入試(前期3教科型・前期2教科型・共通テストプラス型)において「英語の資格・検定試験」のスコアを利用する者のみ提出する ・P.29の基準スコアを満たしているか確認し、指定の証明書類を他の出願書類に同封してください。 ・他の出願書類に同封されない場合は、「英語の資格・検定試験」のスコアを利用することはできません。
令和9年度共通テスト 成績請求チケット (私立大学用)	一般入試(共通テストプラス型)、共通テスト利用入試に出願する者のみ提出する ・インターネット出願確認票の所定の欄に貼付してください。

※調査書等の氏名が出願時と異なる場合は、改姓・改名の事項が記載された公的証明書(戸籍抄本等)の原本を提出してください。

一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕

- 前期3教科型または前期2教科型の出願と同時に、同一試験日、同一学科・専攻の共通テストプラス型にも出願できます（P.32参照）。

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員	
			前期3教科型	前期2教科型
文学部	国文学科		19名	7名
教育学部	教育学科		27名	11名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	21名	8名
		データサイエンス専攻	11名	4名
		数学・情報教員養成専攻	5名	2名
心理学部	心理学科		36名	15名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	19名	6名
		メディアプロデュース専攻	25名	9名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	14名	6名
		住居・インテリアデザイン専攻	11名	5名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	7名	3名
		視覚科学専攻	7名	3名
		理学療法学専攻	7名	3名
		臨床検査学専攻	7名	3名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	16名	7名
		救急救命学専攻	6名	3名
食健康科学部	健康栄養学科		17名	7名
	食創造科学科		18名	7名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	14名	5名
		子ども福祉専攻	10名	3名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	30名	13名
		観光専攻	18名	7名
ビジネス学部	ビジネス学科		44名	18名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		15名	5名

- 数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

出願期間	2027年1月6日(水)～1月20日(水) 締切日消印有効 〈アドミッションセンター持参受付〉 2027年1月21日(木)のみ 9:00～13:00 ※出願登録および入学検定料納入が1月20日(水)までに完了している場合のみ。	
受験票の取得	2027年1月23日(土)10:00～ (P.11参照)	
試験日	2027年2月1日(月)・2月2日(火)・2月4日(木)・2月5日(金)・2月6日(土) 【試験日自由選択】【全日程併願可】	
試験会場	本学試験会場・学外試験会場 (P.27、P.43参照)	
合格発表日	2027年2月17日(水) インターネットによる合否照会のみ(合格通知書は発送しません) 〈合否照会可能期間 (P.44参照)〉 2027年2月17日(水) 10:00～2月23日(火・祝) 23:59	
合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷	2027年2月17日(水)10:00～3月31日(水)23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください(P.45参照)。	
入学手続時納入金 締切日	第1次手続	2027年2月24日(水) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。
	第2次手続	2027年3月10日(水) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。 ※3月11日(木)から3月24日(水)に合格発表(補欠合格、追加合格を除く)を実施する大学を受験する方は、入学手続を延期する制度があります(P.46参照)。

〈試験会場〉(P.43参照)

	本学試験会場	学外試験会場 [※]					
	星が丘キャンパス	岐阜	浜松	四日市	松本	金沢	豊橋
2月1日(月)	●	●	●	●	●	●	●
2月2日(火)	●	●	●	●	●	●	●
2月4日(木)	●	●	●	●			
2月5日(金)	●	●	●	●			
2月6日(土)	●	●	●	●			

※学外試験会場の収容定員に達した場合、本学試験会場での受験となることがあります。

3 入学検定料(1出願につき)

●初回検定料 25,000円

●2回目以降の検定料 5,000円 (大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科・専攻適性入試、公募制推薦入試、一般入試を通して、2回目以降は5,000円)

4 注意点

- 5日間の日程で、前期3教科型・前期2教科型を同時に実施します。1日に、前期3教科型と前期2教科型の両方の入試方式を出願できます(同一学科・専攻に出願する場合に限る)。
- 同一試験日において前期3教科型と前期2教科型を併願する場合、必ず同時に申し込んでください。追加出願はできません。
- 同一学科・専攻および異なる学科・専攻を5回(5日間とも)受験することができます。
- 出願時に試験日、入試方式、受験学科・専攻、受験教科(科目)、試験会場を決定し、申告します。
- 受験教科(科目)は、前期3教科型は3教科(科目)、前期2教科型は2教科(科目)を申告します。同一試験日において前期3教科型と前期2教科型を併願した場合、2教科型は3教科型で受験した教科のうち、高得点の2教科(一部の学科・専攻は必須教科(科目)あり)を採用します。
- 試験教科の「地歴・理科」を受験する場合は、日本史探究、世界史探究、生物基礎、化学基礎、物理基礎(健康栄養学科は生物基礎、化学基礎)のいずれか1科目を申告します。
- 「英語の資格・検定試験」のスコアを利用する場合は、必ず「英語」を含めて受験教科(科目)を選択してください。
- 出願時に申告した教科(科目)および教科数(前期3教科型は3教科、前期2教科型は2教科)を受験してください。申告した教科(科目)を1教科でも受験しなかった場合および申告した教科数を超えて受験した場合は、失格による不合格となります。

- 1日の受験で出願できるのは、「前期3教科型と前期2教科型と共通テストプラス型」「前期3教科型と前期2教科型」「前期3教科型と共通テストプラス型」「前期2教科型と共通テストプラス型」「前期3教科型」「前期2教科型」のいずれかです。また、1日について1学科・専攻のみの受験となります。
- 前期3教科型または前期2教科型を出願する際に、+5,000円で共通テストプラス型にも出願できます。同日に前期3教科型と前期2教科型と共通テストプラス型を併願すると、1日で同一学科・専攻を3回可否判定します。※共通テストプラス型のみの出願および追加出願はできません。

5 試験時間割

※P.30～P.31の「受験上の注意」を必ず確認してください。

時限	教科	入室完了時刻	試験時間
1限	数学	9:10	9:30～10:30
2限	地歴・理科	11:25	11:45～12:45
3限	国語	13:40	14:00～15:00
4限	英語	15:35	15:50～16:50

6 選抜方法・試験教科(科目)・配点

選抜方法：学力試験

試験時間 各60分

全問マーク式

全学科・専攻共通問題(数学以外)

前期3教科型	学科・専攻	教科		配点	満点
	国文学科 教育学科	国語／英語	必須	各100点	300点
		数学／地歴／理科	1教科選択	100点	
	数学・情報教員養成専攻	数学	必須	100点	300点
		国語／英語／地歴／理科	2教科選択 ただし、地歴と理科 両方の選択は不可	各100点	
	創作表現専攻	国語	必須	100点	300点
		英語／数学／地歴／理科	2教科選択 ただし、地歴と理科 両方の選択は不可	各100点	
	健康栄養学科	理科 ※「物理基礎」は選択不可	必須	100点	300点
		国語／英語／数学	2教科選択	各100点	
	ランゲージ専攻 観光専攻 グローバル・コミュニケーション学科	英語	必須	100点	300点
		国語／数学／地歴／理科	2教科選択 ただし、地歴と理科 両方の選択は不可	各100点	
	感性工学専攻／データサイエンス専攻／心理学科 メディアプロデュース専攻／建築・まちづくり専攻 住居・インテリアデザイン専攻／言語聴覚専攻／視覚科学専攻 理学療法学専攻／臨床検査学専攻／スポーツ・健康科学専攻 救急救命学専攻／食創造科学科／社会福祉専攻／子ども福祉専攻 ビジネス学科	国語／英語／数学 地歴／理科	3教科選択 ただし、地歴と理科 両方の選択は不可	各100点	300点

前期2教科型	学科・専攻	教科		配点	満点
	国文学科	国語	必須	100点	200点
		英語／数学／地歴／理科	1教科選択	100点	
	数学・情報教員養成専攻	数学	必須	100点	200点
		国語／英語／地歴／理科	1教科選択	100点	
	健康栄養学科	理科 ※「物理基礎」は選択不可	必須	100点	200点
		国語／英語／数学	1教科選択	100点	
	グローバル・コミュニケーション学科	英語	必須	100点	200点
		国語／数学／地歴／理科	1教科選択	100点	
	教育学科／感性工学専攻／データサイエンス専攻／心理学科 創作表現専攻／メディアプロデュース専攻／建築・まちづくり専攻 住居・インテリアデザイン専攻／言語聴覚専攻／視覚科学専攻 理学療法学専攻／臨床検査学専攻／スポーツ・健康科学専攻 救急救命学専攻／食創造科学科／社会福祉専攻／子ども福祉専攻 ランゲージ専攻／観光専攻／ビジネス学科	国語／英語／数学 地歴／理科	2教科選択 ただし、地歴と理科 両方の選択は不可	各100点	200点

* 同一試験日において、前期3教科型と前期2教科型を併願した場合、前期2教科型は前期3教科型で受験した教科のうち高得点の2教科(一部の学科・専攻は必須教科(科目)あり)を採用します。

前期3教科型・前期2教科型共通

[注]・出願時に受験教科(科目)を決定し、申告する(同一試験日に前期3教科型と併願した前期2教科型は除く)。
・日程や教科(科目)間の格差を是正するため、「中央値補正法」による点数調整をおこなう。詳細はP.51参照。
・「英語の資格・検定試験」で基準スコアを満たしている場合、「英語」の得点を満点にする。詳細はP.29参照。

出題範囲

教科	科目	
数 学	数学・情報教員養成専攻	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)」
	上記以外	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A」
地 歴	「日本史探究」「世界史探究」より出願時にいずれか1科目を選択	
理 科	「生物基礎」「化学基礎」「物理基礎」より出願時にいずれか1科目を選択	
国 語	「現代の国語、言語文化(漢文除く)、論理国語、古典探究(漢文除く)」	
英 語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ」	

〈「英語の資格・検定試験」を利用した「みなし満点」制度について〉

一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕において、本学が認定する「英語の資格・検定試験」の基準スコア(CEFR B2以上)を満たし、スコア取得の証明書を提出した場合は、本学独自試験の「英語」の得点を満点にします。試験当日の「英語」を受験する必要はありません。

【申請方法】

下記の証明書類を他の出願書類に同封して提出してください。他の出願書類に同封されない場合は、「英語の資格・検定試験」のスコアを利用することはできません。

英語の資格・検定試験名	基準スコア	証明書の種類
ケンブリッジ英語検定	160 以上	「合格証明書(認定書)」のコピー
実用英語技能検定(方式問わず)	2300 以上 (受験級 準1級以上) (可否は問わない)	「合格証明書(和文・英文のどちらでも可)*」または 「英検CSEスコア証明書」のコピー *デジタル証明書の印刷でも可
GTEC(CBTタイプ・検定版)	1180 以上	「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」のコピー
IELTS〈アカデミック・モジュール〉 (方式問わず)	5.5 以上	「Test Report Form」のコピー
TEAP(4技能)	309 以上	「TEAP 成績表(スコア表記面)」のコピー
TEAP CBT	600 以上	「TEAP 成績表(スコア表記面)」のコピー
TOEFL iBT ※従来スコア(120点満点)で確認する	72 以上	「Official Score Report」、「Examinee Score Report」 または「Test Taker Score Report」のコピー
TOEIC L&R + TOEIC S&W ※IPテストは不可	1095 以上	「Official Score Certificate」のコピー ※L&RとS&Wのそれぞれの証明書のコピーを 提出してください。

【注意事項】

1. 基準スコアについては、2024年4月以降に取得したものとします。
2. スコアが載っているインターネットの画面を印刷したものは認めません。
*実用英語技能検定のデジタル証明書は除く(マイページの印刷は不可)。
3. 提出された証明書について、不正が発覚した場合は、受験および入学資格を取り消します。
4. 提出された証明書は返却しません。

⚠ インターネット出願時の受験教科は、必ず「英語」を含めた3教科もしくは2教科を選択してください。

7 合否判定の方法および基準について

個別学力試験の総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

※総合点は科目間の平均点の差の大小に関わらず、全科目で「中央値補正法」による得点調整をおこないます。

8 受験上の注意

1. 試験会場

受験票に記載された試験会場で受験してください。受験票に記載された試験会場以外での受験はできませんので、受験票をしっかりと確認し、試験会場を間違えないよう十分注意してください。

試験会場へは、試験当日および前日の下見の際も、公共交通機関を利用してください。送迎を含め、車での来校は固くお断りします。

(1) 試験会場へのアクセス

試験会場は、P.43の「試験会場」案内で確認してください。

(2) 試験会場の下見

2027年1月29日(金)の15:00から17:00まで本学試験会場(星が丘キャンパス)のみ下見が可能です。ただし、試験室への入室はできません。

※学外試験会場については、建物内に入ることはできません。

2. 試験時間割

時限	教科	入室可能時間	入室完了時刻	試験時間
1限	数学	8:30～	9:10	9:30～10:30
2限	地歴・理科	10:45～	11:25	11:45～12:45
3限	国語	13:00～	13:40	14:00～15:00
4限	英語	15:15～	15:35	15:50～16:50

3. 試験当日の注意

(1) 入退場について

- ① 本学試験会場、学外試験会場ともに8:30から入場することができます。
- ② 各教科(科目)の入室完了時刻までに入室・着席してください。遅刻した場合は、試験開始後20分以内であれば受験できますので、速やかに入室してください。ただし、試験時間は延長しません。
- ③ 受験しない教科(科目)の試験時間中は、試験室には入室できません(受験者控室を用意します)。
- ④ 試験室への入室可能時間は、「2.試験時間割」で確認してください。入室可能時間まで各試験室には入室できません。また、試験室の前の廊下で待つこともできません。受験者控室で待機してください。
- ⑤ 試験開始後の途中退室は認めていません。
- ⑥ 携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切って、かばんの中に入れてください。
- ⑦ 試験会場へは、公共交通機関を利用してください。
- ⑧ 付添者控室はありません。本学試験会場については、付添の方はキャンパス内に入ることはできません。

(2) 所持品について

- ① 受験票：インターネット出願システム(マイページ)から取得し、A4サイズのコピー用紙に印刷したものを必ず持参してください。
- ② 受験上の注意：P.30～P.31の「受験上の注意」は印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
- ③ 時計：試験室には時計がありませんので、各自持参してください。
- ④ 昼食：必要に応じて各自持参してください。
- ⑤ 筆記用具等：詳細は次ページの表を参照してください。

机の上に置けるもの(使用できるもの)	使用できないもの*
・受験票 ・HBの黒鉛筆(英文や和歌・格言などが書かれていないもの) ・鉛筆キャップ ・シャープペンシルと替えの芯 ・消しゴム ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く) ・時計 〔辞書や電卓、端末機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く〕 ・眼鏡、目薬 ・ハンカチ、ティッシュペーパー(袋から中身だけ取り出したもの)	・電卓 ・定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む) ・コンパス ・携帯電話 ・スマートフォン ・ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等) ・タブレット端末 ・電子辞書 ・ICレコーダー ・電動式鉛筆削り ・下敷き ・耳栓、イヤホン、ヘッドホン
<監督者の許可を得てから使用するもの> ・座布団、クッション ・ひざ掛け(コートをひざ掛けとして使用する場合も含む)	

* 昼食休憩の時間および受験者控室内を除き、入室完了時刻から試験が終了し試験室を出るまで使用できません。これらのものを身に着けていたり、手に持っていたりすると不正行為となる場合があります。

※上履きは必要ありません。

(3) 入試方式および受験教科(科目)の変更について

必ず出願時に申告した教科(科目)および教科数(前期3教科型は3教科、前期2教科型は2教科)を受験してください。試験当日、入試方式や受験教科(科目)の変更はできません。

申告した教科(科目)を1教科でも受験しなかった場合および申告した教科数を超えて受験した場合は、失格による不合格となります。

(4) 解答上の注意

- ① 解答には、「HBの黒鉛筆」「消しゴム」を使用してください。
- ② 問題冊子に落丁・乱丁、印刷不鮮明等の不備がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

(5) 試験時間中の注意

- ① 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- ② 原則として、試験終了まで退室は認めません。体調不良、トイレ等やむを得ない場合は、手を挙げてください。途中退室しても、試験時間の延長はありません。
- ③ 試験時間中に日常的な生活騒音(監督者の巡回による足音・試験監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者のせき・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも、時間延長等の救済措置は起こないません。
- ④ 英文字や地図等がプリントされている衣服は着用しないでください。

(6) その他の注意

- ① 学内の食堂、売店は営業していません。
- ② 試験当日、試験室の換気のための窓の開放等をおこなう時間帯があります。各自で防寒のために上着などを持参してください。

〈学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項〉

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡など)に罹患して治療していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため、受験できません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験や再試験等の措置、および入学検定料の返還は起こないません。試験当日の体調管理には十分に注意してください。

一般入試〔共通テストプラス型〕 (本学独自試験1教科+大学入学共通テスト2教科)

- 前期3教科型または前期2教科型を出願する際に、同時に出願する入試です(共通テストプラス型のみの出願および追加出願は不可)。

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		5名
教育学部	教育学科		8名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	7名
		データサイエンス専攻	4名
		数学・情報教員養成専攻	1名
心理学部	心理学科		12名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	5名
		メディアプロデュース専攻	8名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	4名
		住居・インテリアデザイン専攻	3名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	2名
		視覚科学専攻	2名
		理学療法学専攻	2名
		臨床検査学専攻	2名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	6名
		救急救命学専攻	2名
食健康科学部	健康栄養学科		5名
	食創造科学科		7名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	4名
		子ども福祉専攻	3名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	11名
		観光専攻	6名
ビジネス学部	ビジネス学科		14名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		4名

- 数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

出願期間	※前期3教科型または前期2教科型と <u>同時に</u> 出願してください。 2027年1月6日(水)～1月20日(水) 締切日消印有効 〈アドミッションセンター持参受付〉 2027年1月21日(木)のみ 9:00～13:00 ※出願登録および入学検定料納入が1月20日(水)までに完了している場合のみ。	
試験日	前期3教科型・前期2教科型の試験日	
合格発表日	2027年2月17日(水) インターネットによる合否照会のみ(合格通知書は発送しません) 〈合否照会可能期間 (P.44参照)〉 2027年2月17日(水) 10:00～2月23日(火・祝) 23:59	
合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷	2027年2月17日(水) 10:00～3月31日(水) 23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください(P.45参照)。	
入学手続時納入金 締切日	第1次手続	2027年2月24日(水) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。
	第2次手続	2027年3月10日(水) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。 ※3月11日(木)から3月24日(水)に合格発表(補欠合格、追加合格を除く)を実施する大学を受験する方は、入学手続を延期する制度があります(P.46参照)。

3 入学検定料(1出願につき)

5,000円

4 選抜方法・試験教科(科目)・配点

選抜方法： 本学独自試験(前期3教科型・前期2教科型)で受験した教科(科目)のうち高得点1教科(科目)[※]+大学入学共通テストの高得点2教科(科目)の成績

※国文学科、数学・情報教員養成専攻、健康栄養学科、グローバル・コミュニケーション学科は必須教科

学科・専攻	■1 本学独自試験	■1 配点	■2 大学入学共通テスト	■2 配点	満点 ■1+■2
国文学科	国 語	100点	国 語(※1) 外国語(※2) 地理歴史 公民 数 学 理 科 情 報	高得点 2教科 (科目) 各100点	300点
数学・情報教員養成専攻	数 学	100点	国 語(※3) 外国語(※2) 地理歴史 公民 数 学 理 科 情 報	高得点 2教科 (科目) 各100点	300点
健康栄養学科	理 科	100点	国 語(※3) 外国語(※2) 地理歴史 公民 数 学 理 科 情 報	高得点 2教科 (科目) 各100点	300点
グローバル・コミュニケーション学科	英 語	100点	国 語(※3) 外国語(※4) 地理歴史 公民 数 学 理 科 情 報	高得点 2教科 (科目) 各100点	300点
教育学科／感性工学専攻／データサイエンス専攻／心理学科 創作表現専攻／メディアプロデュース専攻／建築・まちづくり専攻 住居・インテリアデザイン専攻／言語聴覚学専攻／視覚科学専攻 理学療法学専攻／臨床検査学専攻／スポーツ・健康科学専攻 救急救命学専攻／食創造科学科／社会福祉専攻／子ども福祉専攻 ランゲージ専攻／観光専攻／ビジネス学科	高得点 1教科 (科目)	100点	国 語(※3) 外国語(※2) 地理歴史 公民 数 学 理 科 情 報	高得点 2教科 (科目) 各100点	300点

※1 『国語』は200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語『英語』はリーディング100点満点を80点満点、リスニング100点満点を20点満点にそれぞれ換算する。

その他の外国語は200点満点を100点満点に換算する。

※3 『国語(近代以降の文章のみ)』は110点満点を100点満点に換算する。

※4 外国語『英語』はリーディング100点満点、リスニング100点満点の合計200点満点を100点満点に換算する。

[注] ・日程や教科(科目)間の格差を是正するため、「中央値補正法」による点数調整をおこなう(本学独自試験のみ)。詳細はP.51参照。

・「英語の資格・検定試験」で基準スコアを満たしている場合、本学独自試験の「英語」の得点を満点にする。詳細はP.29参照。

大学入学共通テスト教科(科目)

国 語	国文学科	『国語』
	上記以外	『国語(近代以降の文章のみ)』
外国語	グローバル・コミュニケーション学科	『英語』
	上記以外	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目
地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	
数 学	『数学I, 数学A』『数学I』『数学II, 数学B, 数学C』から1科目	
理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目	
情 報	『情報I』	

5 合否判定の方法および基準について

個別学力試験と大学入学共通テストの総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

※総合点は科目間の平均点の差の大小に関わらず、個別学力試験の全科目で「中央値補正法」による得点調整をおこないます。

6 注意点

1. 前期3教科型または前期2教科型を出願する際に、同時に出願してください。共通テストプラス型のみの出願および追加出願はできません。
2. 前期3教科型または前期2教科型を出願する日に、同じ学科・専攻に出願できます。前期3教科型と前期2教科型と共通テストプラス型を併願すると、1日で同一学科・専攻を3回合否判定します。
3. 本学独自試験は、前期3教科型または前期2教科型で受験した教科(科目)のうち、高得点の教科(科目)[※]の得点を採用するため、共通テストプラス型の個別試験は実施しません。
※国文学科、数学・情報教員養成専攻、健康栄養学科、グローバル・コミュニケーション学科は必須教科
4. 大学入学共通テストは、高得点の教科(科目)から順に採用します。
5. 本学独自試験と大学入学共通テストは、同じ教科(科目)を利用することが可能です。
6. 前期3教科型または前期2教科型での試験教科(科目)は、出願時に申告したものをすべて受験してください。申告した教科(科目)を1教科でも受験しなかった場合および申告した教科数を超えて受験した場合は、共通テストプラス型においても失格による不合格となります。
7. 1日で前期3教科型と前期2教科型と共通テストプラス型を出願した場合は、前期3教科型の成績と大学入学共通テストの成績を組み合わせるため、前期3教科型が科目不足等により失格となった場合は、共通テストプラス型の合否判定も失格となります。

一般入試〔後期〕(1教科型)

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		2名
教育学部	教育学科		3名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	3名
		データサイエンス専攻	2名
		数学・情報教員養成専攻	1名
心理学部	心理学科		5名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	2名
		メディアプロデュース専攻	3名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	2名
		住居・インテリアデザイン専攻	2名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	1名
		視覚科学専攻	1名
		理学療法学専攻	1名
		臨床検査学専攻	1名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	3名
		救急救命学専攻	1名
食健康科学部	健康栄養学科	2名	
	食創造科学科	3名	
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	3名
		子ども福祉専攻	2名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	4名
		観光専攻	3名
ビジネス学部	ビジネス学科		7名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		2名

- 数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

出願期間	2027年2月17日(水)～2月25日(木) 締切日消印有効 〈アドミッションセンター持参受付〉 2027年2月26日(金)のみ 9:00～13:00 ※出願登録および入学検定料納入が2月25日(木)までに完了している場合のみ。
受験票の取得	2027年3月2日(火)10:00～ (P.11参照)
試験日	2027年3月8日(月)
試験会場	星が丘キャンパス (P.43参照)
合格発表日	2027年3月17日(水) インターネットによる合否照会のみ(合格通知書は発送しません) 〈合否照会可能期間 (P.44参照)〉 2027年3月17日(水) 10:00～3月23日(火) 23:59
合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷	2027年3月17日(水)10:00～3月31日(水)23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください(P.45参照)。
入学手続時納入金 締切日	2027年3月24日(水) 〔一括納入〕 ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

3 入学検定料(1出願につき)

- 初回検定料 **25,000円**
 ●2回目以降の検定料 **5,000円** (大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科・専攻適性入試、公募制推薦入試、一般入試を通して、2回目以降は**5,000円**)

4 注意点

- 3教科を受験することで、同一学科・専攻の3回の併願が可能です(国文学科、数学・情報教員養成専攻、グローバル・コミュニケーション学科を除く)。
- 1教科を受験することで、複数の学科・専攻を併願できます(数学・情報教員養成専攻を除く)。
- 3限「数学」の受験では、数学・情報教員養成専攻とそれ以外の学科・専攻を併願することはできません(教科の出題範囲が異なるため)。

【受験可能な併願パターン】

	国文	教育	感性工学	データサイエンス	数学・情報教員養成専攻	心理	創作表現	メディアプロデュース	建築・まちづくり	住居・インテリアデザイン	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・健康科学	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・コミュニケーション
1限 国語	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
2限 英語	—	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3限 数学	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数学 上記以外	—	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

- ・出願時に受験学科・専攻と受験教科の組み合わせを決定し、申告します。

5 試験時間割

※P.37～P.38の「受験上の注意」を必ず確認してください。

時限	教科	入室完了時刻	試験時間
1限	国語	9:10	9:30～10:30
2限	英語	11:05	11:25～12:25
3限	数学	13:20	13:40～14:40

6 選抜方法・試験教科(科目)・配点

選抜方法：学力試験 試験時間 各60分 全問マーク式 全学科・専攻共通問題(数学以外)

学科・専攻	教科		配点	満点
国文学科	国 語	必須	100点	100点
数学・情報教員養成専攻	数 学	必須	100点	100点
グローバル・コミュニケーション学科	英 語	必須	100点	100点
教育学科／感性工学専攻／データサイエンス専攻／心理学科 創作表現専攻／メディアプロデュース専攻／建築・まちづくり専攻 住居・インテリアデザイン専攻／言語聴覚学専攻／視覚科学専攻 理学療法学専攻／臨床検査学専攻／スポーツ・健康科学専攻 救急救命学専攻／健康栄養学科／食創造科学学科／社会福祉専攻 子ども福祉専攻／ランゲージ専攻／観光専攻／ビジネス学科	国 語	1教科選択	100点	100点
	英 語			
	数 学			

[注] 教科間の格差を是正するため、「中央値補正法」による点数調整をおこなう。詳細はP.51参照。

出題範囲

教科	科目	
国 語	「現代の国語、言語文化(漢文除く)、論理国語、古典探究(漢文除く)」	
英 語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ」	
数 学	数学・情報教員養成専攻	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)」
	上記以外	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A」

7 合否判定の方法および基準について

個別学力試験の総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

※総合点は科目間の平均点の差の大小に関わらず、全科目で「中央値補正法」による得点調整をおこないます。

8 受験上の注意

1. 試験会場

星が丘キャンパス(P.43参照)

- ・2027年3月5日(金)の15:00から17:00まで試験会場の下見が可能です。ただし、試験室への入室はできません。
- ・試験会場へは、試験当日および前日の下見の際も、公共交通機関を利用してください。送迎を含め、車での来校は固くお断りします。

2. 試験時間割

時限	教科	入室可能時間	入室完了時刻	試験時間
1限	国語	8:30～	9:10	9:30～10:30
2限	英語	10:45～	11:05	11:25～12:25
3限	数学	12:40～	13:20	13:40～14:40

3. 試験当日の注意

(1) 入退場について

- ①試験会場は8:30から入場することができます。
- ②各教科の入室完了時刻までに入室・着席してください。遅刻した場合は、試験開始後20分以内であれば受験できますので、速やかに入室してください。ただし、試験時間は延長しません。
- ③受験しない教科の試験時間中は、試験室には入室できません(受験者控室を用意します)。
- ④試験室への入室可能時間は、「2.試験時間割」で確認してください。入室可能時間まで各試験室には入室できません。また、試験室の前の廊下で待つこともできません。受験者控室で待機してください。
- ⑤試験開始後の途中退室は認めていません。
- ⑥携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切って、かばんの中に入れてください。
- ⑦試験会場へは、公共交通機関を利用してください。
- ⑧付添の方は試験会場(キャンパス内)に入ることはできません。

(2) 所持品について

- ①受験票：インターネット出願システム(マイページ)から取得し、A4サイズのコピー用紙に印刷したものを必ず持参してください。
- ②受験上の注意：P.37～P.38の「受験上の注意」は印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
- ③時計：試験室には時計がありませんので、各自持参してください。
- ④昼食：必要に応じて各自持参してください。
- ⑤筆記用具等：詳細は次ページの表を参照してください。

机の上に置けるもの(使用できるもの)	使用できないもの*
・受験票 ・HBの黒鉛筆(英文や和歌・格言などが書かれていないもの) ・鉛筆キャップ ・シャープペンシルと替えの芯 ・消しゴム ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く) ・時計 〔辞書や電卓、端末機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く〕 ・眼鏡、目薬 ・ハンカチ、ティッシュペーパー(袋から中身だけ取り出したもの)	・電卓 ・定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む) ・コンパス ・携帯電話 ・スマートフォン ・ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等) ・タブレット端末 ・電子辞書 ・ICレコーダー ・電動式鉛筆削り ・下敷き ・耳栓、イヤホン、ヘッドホン
<監督者の許可を得てから使用するもの> ・座布団、クッション ・ひざ掛け(コートをひざ掛けとして使用する場合も含む)	

* 昼食休憩の時間および受験者控室内を除き、入室完了時刻から試験が終了し試験室を出るまで使用できません。これらのものを身に付けていたり、手に持っていたりすると不正行為となる場合があります。

※上履きは必要ありません。

(3) 受験教科の変更について

必ず出願時に申告した教科を受験してください。試験当日、受験教科の変更はできません。

(4) 解答上の注意

- ① 解答には、「HBの黒鉛筆」「消しゴム」を使用してください。
- ② 問題冊子に落丁・乱丁、印刷不鮮明等の不備がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

(5) 試験時間中の注意

- ① 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- ② 原則として、試験終了まで退室は認めません。体調不良、トイレ等やむを得ない場合は、手を挙げてください。途中退室しても、試験時間の延長はありません。
- ③ 試験時間中に日常的な生活騒音(監督者の巡回による足音・試験監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者のせき・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも、時間延長等の救済措置は起こしません。
- ④ 英文字や地図等がプリントされている衣服は着用しないでください。

(6) その他の注意

- ① 学内の食堂、売店は営業していません。
- ② 試験当日、試験室の換気のための窓の開放等をおこなう時間帯があります。各自で防寒のために上着などを持参してください。

〈学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項〉

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡など)に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため、受験できません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験や再試験等の措置、および入学検定料の返還は起こしません。試験当日の体調管理には十分に注意してください。

共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕

●すべての学科・専攻を併願できます。また、3教科型と4教科型は併願できます。

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員	
			前期3教科型	前期4教科型
文学部	国文学科		5名	3名
教育学部	教育学科		6名	5名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	5名	4名
		データサイエンス専攻	3名	2名
		数学・情報教員養成専攻	1名	1名
心理学部	心理学科		8名	6名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	5名	3名
		メディアプロデュース専攻	6名	5名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	3名	2名
		住居・インテリアデザイン専攻	2名	2名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	2名	2名
		視覚科学専攻	2名	2名
		理学療法学専攻	2名	2名
		臨床検査学専攻	2名	2名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	4名	3名
		救急救命学専攻	1名	1名
食健康科学部	健康栄養学科		2名	2名
	食創造科学科		6名	4名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	3名	2名
		子ども福祉専攻	3名	2名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	5名	4名
		観光専攻	3名	2名
ビジネス学部	ビジネス学科		8名	7名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		2名	2名

●数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

出願期間	2027年1月6日(水)～1月26日(火) 締切日消印有効 〈アドミッションセンター持参受付〉 2027年1月27日(水)のみ 9:00～13:00 ※出願登録および入学検定料納入が1月26日(火)までに完了している場合のみ。	
受験番号の取得	2027年1月29日(金)10:00～ (P.11参照)	
合格発表日	2027年2月17日(水) インターネットによる可否照会のみ(合格通知書は郵送しません) 〈可否照会可能期間 (P.44参照)〉 2027年2月17日(水) 10:00～2月23日(火・祝) 23:59	
合格通知書／振込依頼票／ 入学手続要項の印刷	2027年2月17日(水)10:00～3月31日(水)23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください。(P.45参照)。	
入学手続時納入金 締切日	第1次手続	2027年2月24日(水) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。
	第2次手続	2027年3月10日(水) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。 ※3月11日(木)から3月24日(水)に合格発表(補欠合格、追加合格を除く)を実施する大学を受験する方は、入学手続を延期する制度があります(P.46参照)。

3 入学検定料(1出願につき)

5,000円

4 選抜方法・試験教科(科目)・配点

選抜方法：大学入学共通テストの成績（本学独自の学力試験は実施しない）

※選択教科(科目)は、高得点のものから順に採用する。

学科・専攻	前期3教科型			前期4教科型		
	教科	配点	満点	教科	配点	満点
国文学科	国 語	必須 200点	400点	国 語	必須 200点	500点
	外国語(※1)	高得点 2教科(科目) 各100点		外国語(※1)	高得点 3教科(科目) 各100点	
	地理歴史 公民			地理歴史 公民		
	数 学			数 学		
	理 科			理 科		
	情 報			情 報		
数学・情報教員養成専攻	数 学	必須 100点	300点	数 学	必須 100点	400点
	国 語(※2)	高得点 2教科(科目) 各100点		国 語(※2)	高得点 3教科(科目) 各100点	
	外国語(※1)			外国語(※1)		
	地理歴史 公民			地理歴史 公民		
	理 科			理 科		
	情 報			情 報		
健康栄養学科	理 科	必須 100点	300点	理 科	必須 100点	400点
	国 語(※2)	高得点 2教科(科目) 各100点		国 語(※2)	高得点 3教科(科目) 各100点	
	外国語(※1)			外国語(※1)		
	地理歴史 公民			地理歴史 公民		
	数 学			数 学		
	情 報			情 報		
グローバル・コミュニケーション学科	外国語	必須 200点	400点	外国語	必須 200点	500点
	国 語(※2)	高得点 2教科(科目) 各100点		国 語(※2)	高得点 3教科(科目) 各100点	
	地理歴史 公民			地理歴史 公民		
	数 学			数 学		
	理 科			理 科		
	情 報			情 報		
教育学科／感性工学専攻／データサイエンス専攻 心理学科／創作表現専攻／メディアプロデュース専攻 建築・まちづくり専攻／住居・インテリアデザイン専攻 言語聴覚学専攻／視覚科学専攻／理学療法学専攻 臨床検査学専攻／スポーツ・健康科学専攻 救急救命学専攻／食創造科学科／社会福祉専攻 子ども福祉専攻／ランゲージ専攻／観光専攻 ビジネス学科	国 語(※2)	高得点 3教科(科目) 各100点 国語か 外国語を 利用する	300点	国 語(※2)	高得点 4教科(科目) 各100点 国語か 外国語を 利用する	400点
	外国語(※1)			外国語(※1)		
	地理歴史 公民			地理歴史 公民		
	数 学			数 学		
	理 科			理 科		
	情 報			情 報		

*1 外国語『英語』はリーディング100点満点を80点満点、リスニング100点満点を20点満点にそれぞれ換算する。

その他の外国語は200点満点を100点満点に換算する。

*2 『国語(近代以降の文章のみ)』は110点満点を100点満点に換算する。

大学入学共通テスト教科(科目)

国 語	国文学科	『国語』
	上記以外	『国語(近代以降の文章のみ)』
外国語	グローバル・コミュニケーション学科	『英語』
	上記以外	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目
地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	
数 学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1科目	
理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目	
情 報	『情報Ⅰ』	

5 合否判定の方法および基準について

大学入学共通テストの総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

共通テスト利用入試〔後期〕(2教科型)

●すべての学科・専攻を併願できます。

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		2名
教育学部	教育学科		3名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	3名
		データサイエンス専攻	2名
		数学・情報教員養成専攻	1名
心理学部	心理学科		6名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	2名
		メディアプロデュース専攻	3名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	2名
		住居・インテリアデザイン専攻	2名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	2名
		視覚科学専攻	2名
		理学療法学専攻	2名
		臨床検査学専攻	2名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	2名
		救急救命学専攻	1名
食健康科学部	健康栄養学科	2名	
	食創造科学科	3名	
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	2名
		子ども福祉専攻	2名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	4名
		観光専攻	2名
ビジネス学部	ビジネス学科		6名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		2名

●数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

出願期間	2027年2月17日(水)～3月2日(火) 締切日消印有効 〈アドミッションセンター持参受付〉 2027年3月3日(水)のみ 9:00～13:00 ※出願登録および入学検定料納入が3月2日(火)までに完了している場合のみ。
受験番号の取得	2027年3月5日(金)10:00～ (P.11参照)
合格発表日	2027年3月17日(水) インターネットによる合否照会のみ(合格通知書は発送しません) 〈合否照会可能期間 (P.44参照)〉 2027年3月17日(水)10:00～3月23日(火)23:59
合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷	2027年3月17日(水)10:00～3月31日(水)23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください。(P.45参照)。
入学手続時納入金 締切日	2027年3月24日(水)〔一括納入〕 ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

3 入学検定料(1出願につき)

5,000円

4 選抜方法・試験教科(科目)・配点

選抜方法：大学入学共通テストの成績（本学独自の学力試験は実施しない）

※選択教科(科目)は、高得点のものから順に採用する。

学科・専攻	教科	配点	満点
国文学科	国 語	必須 200点	300点
	外国語(※1)	高得点 1教科(科目) 100点	
	地理歴史 公民		
	数 学		
	理 科		
	情 報		
数学・情報教員養成専攻	数 学	必須 100点	200点
	国 語(※2)	高得点 1教科(科目) 100点	
	外国語(※1)		
	地理歴史 公民		
	理 科		
	情 報		
グローバル・コミュニケーション学科	外国語	必須 200点	300点
	国 語(※2)	高得点 1教科(科目) 100点	
	地理歴史 公民		
	数 学		
	理 科		
	情 報		
教育学科／感性工学専攻／データサイエンス専攻／心理学科／創作表現専攻 メディアプロデュース専攻／建築・まちづくり専攻／住居・インテリアデザイン専攻 言語聴覚学専攻／視覚科学専攻／理学療法学専攻／臨床検査学専攻 スポーツ・健康科学専攻／救急救命学専攻／健康栄養学科／食創造科学科 社会福祉専攻／子ども福祉専攻／ランゲージ専攻／観光専攻／ビジネス学科	国 語(※2)	高得点 2教科(科目) 各100点 国語か 外国語を 利用する	200点
	外国語(※1)		
	地理歴史 公民		
	数 学		
	理 科		
	情 報		

※1 外国語『英語』はリーディング100点満点を80点満点、リスニング100点満点を20点満点にそれぞれ換算する。

その他の外国語は200点満点を100点満点に換算する。

※2 『国語(近代以降の文章のみ)』は110点満点を100点満点に換算する。

大学入学共通テスト教科(科目)

国 語	国文学科	『国語』
	上記以外	『国語(近代以降の文章のみ)』
外国語	グローバル・コミュニケーション学科	『英語』
	上記以外	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目
地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	
数 学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1科目	
理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目	
情 報	『情報Ⅰ』	

5 合否判定の方法および基準について

大学入学共通テストの総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

共通 ②

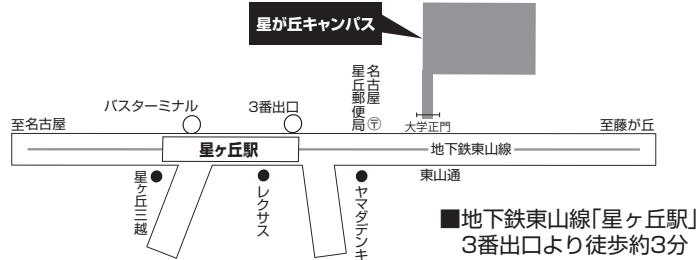
1 試験会場

〈本学試験会場〉

愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

2月1日(月)・2日(火)・
4日(木)・5日(金)・6日(土)
3月8日(月)

名古屋市千種区桜が丘 23
TEL(052)781-1151(代表)



〈注意〉

- ・試験会場に駐車スペースはありませんので、公共交通機関でお越しください。
- ・また、近隣の方の迷惑となりますので、送迎を含め、車での来校は固くお断りします。
- ・試験当日は、スクールバスおよびキャンパス間の連絡バスは運行しません。

〈学外試験会場〉

岐阜市文化センター

2月1日(月)・2日(火)・
4日(木)・5日(金)・
6日(土)

岐阜市金町5-7-2

■JR「岐阜駅」・
名鉄「名鉄岐阜駅」より徒歩10分

ホテルモンターニュ松本

2月1日(月)・2日(火)

松本市市上3-2

■JR「松本駅」アルブス口(西口)
より徒歩1分

呉竹荘

2月1日(月)・2日(火)・
4日(木)・5日(金)・
6日(土)

浜松市中央区東伊場1-1-26

■JR「浜松駅」南口より徒歩15分

■JR「浜松駅」よりバス5分(バスターミナル5番線「20」宇布見山崎線乗車)「成子坂」下車、徒歩1分
※試験終了後に会場からJR「浜松駅」へ向かう際は、「成子坂西」乗車

ITビジネスプラザ武蔵

2月1日(月)・2日(火)

金沢市武蔵町14-31

■JR「金沢駅」兼六園口(東口)
より徒歩10分

都ホテル 四日市

2月1日(月)・2日(火)・
4日(木)・5日(金)・
6日(土)

四日市市安島1-3-38

■近鉄「近鉄四日市駅」
北口より徒歩3分

豊橋商工会議所

2月1日(月)・2日(火)

豊橋市花田町字石塚42-1

■JR・名鉄「豊橋駅」東口より
徒歩5分

2 合格発表(インターネットによる合否照会)

1. 合否結果は、合格発表当日の午前10時から、インターネット出願システムのマイページ内「合否結果」から確認してください。ログインする際、マイページログイン用「メールアドレス」「パスワード」が必要となります。
2. 本学での掲示発表や郵送による合格通知はおこないません。
3. 合格した場合、インターネット出願システムのマイページ内「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から必要書類を印刷してください(P.45「入学手続」参照)。
4. 合否結果に関する問い合わせには、応じません。

マイページログインURL

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

※マイページ内「合否結果」から合否を確認してください。

〈合否照会可能期間〉

入試方式	合否照会可能期間
一般入試(前期3教科型・前期2教科型・共通テストプラス型)	2027年2月17日(水) 10:00 ~ 2月23日(火・祝) 23:59
共通テスト利用入試(前期3教科型・前期4教科型)	
一般入試(後期)	2027年3月17日(水) 10:00 ~ 3月23日(火) 23:59
共通テスト利用入試(後期)	

注意

- ・合否照会開始直後は混み合うため、つながりにくい場合があります。
- ・合否照会の「誤操作」「見間違い」などを理由とした、入学手続締切日後の入学手続は認めません。

3 追加合格

1. 合格者の入学手続状況により、追加合格を実施する場合があります。
2. 追加合格の有無等は、大学WEBサイトで知らせます。
3. 追加合格の対象となるのは、一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕〔後期〕、共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕〔後期〕の受験者です。
4. 追加合格の候補者に対する事前通知はおこないません。
5. 追加合格(1次)

一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕、共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕で追加合格になった場合は、以下の日程でインターネット出願システムのマイページ内「合否結果」から追加合格を確認できます(追加合格にならなかった場合は、表示されるものではありません)。

〈追加合格確認期間〉

2027年2月25日(木) 10:00 ~ 3月3日(水) 23:59

※合格した場合、インターネット出願システムのマイページ内「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から必要書類を印刷してください(P.45「入学手続」参照)。

※追加合格により入学手続時納入金を納めた方で、本学一般入試(後期)・共通テスト利用入試(後期)を追加合格と同一学科・専攻に出願された方には、入学検定料を返還します。該当される方には、後日、返還手続書類を郵送します。

6. 追加合格(2次)

一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕〔後期〕、共通テスト利用入試〔前期3教科

型〕〔前期4教科型〕〔後期〕の追加合格者に対して、2027年3月24日(水)15時以降にインターネット出願時に登録した電話番号[※]に連絡します。

本学からの連絡の際、再度にわたる電話連絡にもかかわらず、不在等のため連絡がつかない(該当者への最初の電話から1時間以内)場合や、すみやかに意思表示されなかった場合は、入学の意思のないものとして取り扱いますので、ご注意ください。

電話連絡において、入学の意思を表明された方は、インターネット出願システムのマイページ内「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から必要書類を印刷してください(P.45「入学手続」参照)。

※入学の意思を確認しますので、必ず連絡がとれる電話番号をインターネット出願時に登録してください。

4 入学手続

入学手続は、「入学手続時納入金の納入」および「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」によって完了します。入学手続を所定の期間内に完了しない方は、入学の意思のないものとみなし、入学を認めません。「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」については、前期日程は3月初旬発送予定の「新入生のしおり」で案内します。後期日程はマイページ掲載の「入学手続要項・新入生のしおり」で確認してください(なお、「新入生のしおり」冊子は3月下旬発送予定です)。

〈入学手続時納入金の納入〉

マイページより「振込依頼票」を印刷し、「入学手続要項」で詳細を確認のうえ、所定の期日までに入学手続時納入金を納入してください。期日までに手続をおこなわなかった場合は、入学資格を失います。

※第2次手続は、第1次手続を完了した者のみおこなうことができます。

下記URLからマイページにログインし、「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から印刷をしてください。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

〈印刷可能期間〉

入試方式	印刷可能期間
一般入試(前期3教科型・前期2教科型・共通テストプラス型)	2027年2月17日(水)10:00 ～ 3月31日(水)23:59
共通テスト利用入試(前期3教科型・前期4教科型)	
一般入試(後期)	2027年3月17日(水)10:00 ～ 3月31日(水)23:59
共通テスト利用入試(後期)	
追加合格(1次)	2027年2月25日(木)10:00 ～ 3月31日(水)23:59
追加合格(2次) ※入学の意思を表明した人のみ	電話連絡の際に案内します

1. 本学から合格通知書、振込依頼票、入学手続要項の郵送はおこないません。今後の手続については、「入学手続要項」と「新入生のしおり」で確認してください。
2. 所定の期日までに入学手続が完了しない場合は入学資格を失います。
3. 合格者であっても、「誤操作」「見間違い」「未確認」などを理由とした締切日後の入学手続は認めません。
4. 入学金を除く授業料、教育充実費、その他徴収金については、指定の用紙に必要事項を記入したうえで2027年3月31日(水)〈必着〉までに入学辞退の申し出があった場合に限り返還します。
※入学手続完了後の入学辞退に関する必要事項は、「入学手続要項」で確認してください。
5. 入学しない場合でも納入された入学金(第1次納入金)は返還しません。

● 外国人の合格者へ

入学時には「留学」ビザが必要です(ただし、すでに「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」などの有効な在留資格を持っている方は除きます)。新規で「留学」の在留資格申請が必要な方や、入学までに在留期間更新の手続が必要な方は、可否結果を確認後、本学国際交流センター(TEL(052)783-1590(直通))に連絡してください。

■入学手続(第2次納入金)の延期について

一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕、共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕の合格者で、以下の①または②の場合に限り、所定の手続により入学金(第1次納入金)を納めたうえで、入学手続(第2次納入金)の延期を願い出ることができます。

- ①他大学を受験し、その合格発表(補欠合格、追加合格を除く)が2027年3月11日(木)から3月24日(水)の間に定められている場合
- ②本学の一般入試〔後期〕または共通テスト利用入試〔後期〕で他の学科・専攻を受験する場合

※詳細は、合格者に案内する「入学手続要項」で確認してください。

■入学金(第1次納入金)の振り替えについて

1. 公募制推薦入試の入学金(第1次納入金)を納入した方で、一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕、共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕のいずれかで他の学科・専攻に合格し、入学する学科・専攻を変更する場合は、入学金の振り替えが可能です。

申出期間：2027年2月17日(水)～2月23日(火・祝)

2. 公募制推薦入試、一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕、共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕の入学金(第1次納入金)を納入し、入学手続(第2次納入金)の延期を願い出た方で、一般入試〔後期〕、共通テスト利用入試〔後期〕のいずれかで他の学科・専攻に合格し、入学する学科・専攻を変更する場合は、入学手続時納入金は一括納入となっているため、期日までに一旦全額を納めてください。納金確認後に、公募制推薦入試、一般入試〔前期3教科型〕〔前期2教科型〕〔共通テストプラス型〕、共通テスト利用入試〔前期3教科型〕〔前期4教科型〕の入学金を返還します。

申出期間：2027年3月17日(水)～3月23日(火)

※申出期間後の他の学科・専攻への変更は、いかなる理由があっても受け付けません。

※詳細は合格者に案内する「入学手続要項」で確認してください。

公募制推薦入試／一般入試／共通テスト利用入試 共通

学納金〔1年次〕

一般入試〔後期〕、共通テスト利用入試〔後期〕は、第1次納入金と第2次納入金の合計金額を一括して納金していただきます。（単位：円）

学部 学科・専攻			入学手続時納入金					後期(10月)納入金				初年度納入金	
			第1次納入金	第2次納入金				計	後期授業料	後期教育充実費	後期後援会費		計
				入学金	前期授業料	前期教育充実費	後援会入会金						
文学部			200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
教育学部			200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
人間情報学部			200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
心理学部			200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
創造表現学部			200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
建築学部 ^{※1}			200,000	405,000	210,000	5,000	5,000	825,000	405,000	210,000	5,000	620,000	1,445,000
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻 ^{※2} 視覚科学専攻 ^{※2}	200,000	445,000	255,000	5,000	5,000	910,000	445,000	255,000	5,000	705,000	1,615,000
		理学療法学専攻 ^{※3} 臨床検査学専攻 ^{※3}	200,000	445,000	270,000	5,000	5,000	925,000	445,000	270,000	5,000	720,000	1,645,000
	スポーツ・健康科学専攻	200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000	
	救急救命学専攻	200,000	460,000	210,000	5,000	5,000	880,000	460,000	210,000	5,000	675,000	1,555,000	
食健康科学部 ^{※4}			200,000	415,000	230,000	5,000	5,000	855,000	415,000	230,000	5,000	650,000	1,505,000
福祉貢献学部			200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
交流文化学部			200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
ビジネス学部			200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
グローバル・コミュニケーション学部			200,000	445,000	185,000	5,000	5,000	840,000	445,000	185,000	5,000	635,000	1,475,000

※1 建築学部は、2年次以降教育充実費が年間500,000円になります。

※2 健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻、視覚科学専攻は、2年次以降教育充実費が年間610,000円になります。

※3 健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻、臨床検査学専攻は、2年次以降教育充実費が年間640,000円になります。

※4 食健康科学部は、2年次以降教育充実費が年間510,000円になります。

- ・上記以外に、入学手続金納入時に学生教育研究災害傷害保険（入学者全員加入）の4年間分の保険料として2,650円（予定）、ただし健康医療科学部・食健康科学部・福祉貢献学部は2,720円（予定）を一括徴収します。
- ・後援会は、全員加入です。後援会に代わり、大学が入会金および会費を一旦徴収します。2年次以降は会費のみで、年間10,000円になります。

高等教育の修学支援新制度について

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象機関です。同制度による授業料等減免対象者（採用候補者）であっても、入学手続期間内に入学金および授業料等の納入が必要です。なお、入学後所定の手続をとることにより、区分に応じた減免額を還付します。

外国人留学生の授業料減免について

入学後、「愛知淑徳大学私費外国人留学生授業料減免に関する規程」に基づく選考により、外国人留学生の授業料を30%を限度として減免する制度があります。

在学中(4年間)に別途徴収する実験実習費の概算、および学科必修(選択必修)の留学等費用の概算は、以下のとおりです。なお、金額は変更になる場合があります。

〈実験実習費(2026年度参考)〉

種類	実験実習費	対象学生
教育実習(小学校)	5,400円	小学校の教員免許状取得を希望する学生
教育実習(中高・栄養)	5,000円	中学校・高等学校および栄養教諭の教員免許状取得を希望する学生
教育実習(特別支援)	5,400円	特別支援学校の教員免許状取得を希望する学生
教育実習(幼稚園)	29,000円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で幼稚園の教員免許状取得を希望する学生
介護等体験実習	13,300円	介護等体験・介護実践演習を履修する学生
博物館実習	16,000円	学芸員課程科目の博物館実習を履修する学生
図書館実習	3,000円	司書課程科目の図書館実習を履修する学生
オンライン検索実習	7,000円	司書資格の取得を希望する学生
公認心理師実習 (集団抗体検査費用を含む)	19,500円	心理学部 心理学科で公認心理師受験資格取得のため心理実習を希望する学生
言語聴覚士実習	300,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻の学生
視能訓練士実習	150,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 視覚科学専攻の学生
理学療法士実習	360,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻の学生
臨床検査技師実習	350,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 臨床検査学専攻の学生
救急救命士実習	230,000円	健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻の学生
管理栄養士実習	220,000円	食健康科学部 健康栄養学科の学生
食創造科学科実験実習	28,000円～83,000円	食健康科学部 食創造科学科の学生(食品衛生管理者、監視員の資格取得を希望する場合を含む)
社会福祉士実習	87,500円～96,300円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻でソーシャルワーク実習を希望する学生
精神保健福祉士実習	68,500円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻で精神保健福祉援助実習を希望する学生
保育実習	52,000円～62,000円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で保育実習を希望する学生
集団抗体検査費用	9,700円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で教育実習(幼稚園)および保育実習を希望する学生

〈留学等費用(2026年度参考)〉 海外の場合、サーチャージや為替により変動することがあります。

学科	科目名	費用(自己負担額)
教育学科	海外セミナーI・II(2年次前期・後期選択必修)	500,000円～900,000円※
ビジネス学科	Bilingual Internship(3・4年次選択必修)	450,000円～750,000円※
グローバルコミュニケーション学科	Study Abroad(2年次必修)	550,000円～1,050,000円※

※ 派遣先、留学先により、費用が異なります。

奨学金

1 日本学生支援機構奨学金(2026年度)

日本学生支援機構奨学金には、貸与型と給付型があり、それぞれ定められた条件があります。

・貸与奨学金

貸与奨学金には「第一種(無利子貸与)」および「第二種(有利子貸与)」があります。

貸与奨学金の場合、卒業後20年以内(最長)に返還する義務があり、申込時には連帯保証人および保証人を立てる必要があります(機関保証制度を選択した場合は不要)。

種類	第一種(無利子貸与)	第二種(有利子貸与)
金額 (月額)	[自 宅 生] 2万円、3万円、4万円、5万4千円から選択 [自宅外生] 2万円、3万円、4万円、5万円、6万4千円から選択	2万円～12万円の中から1万円単位で選択

・給付奨学金・授業料等減免

給付奨学金は原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づく区分(第I区分～第IV区分)に応じて支給金額が異なります。また、給付奨学金の対象者は、授業料等減免の手続きをおこなうことで、授業料等減免を同時に受けることができます。なお、本学では高等学校在学時に採用された方も入学手続期限までに入学金を含む入学手続時納入金を納入いただき、入学後所定の手続きをとることにより、区分に応じた減免額を還付します。

区分	支給月額		授業料等減免
	自宅通学	自宅外通学	
第I区分	38,300円(42,500円)	75,800円	授業料減免上限額の70万円免除 入学金20万円免除(新入生のみ)
第II区分	25,600円(28,400円)	50,600円	第I区分の減免額の2/3
第III区分	12,800円(14,200円)	25,300円	第I区分の減免額の1/3
第IV区分 (多子世帯に限る)	9,600円(10,700円)	19,000円	第I区分の減免額の1/4

※自宅外通学の場合、自宅外通学であることの証明書類の提出が必要

※生活保護世帯で自宅から通学する人および児童養護施設等から通学する人は上表のカッコ内の金額

愛知淑徳大学は高等教育の修学支援新制度についての対象機関です。なお、人間情報学部人間情報学科、創造表現学部創造表現学科、建築学部建築学科は同制度理工農系学部・学科の対象です。

2 愛知淑徳大学独自の奨学金(2026年度)

奨励給付奨学金1	対象者	学部の3年生、4年生で特に学業成績優秀な者。		採用人数	各学科・専攻ごとに異なる(各学年次において2～4名)		給付額	年額10万円	
	成績条件	GPAと修得単位数の条件あり		選考基準	学部からの推薦による		備考	2年連続しての受給も可	
奨励給付奨学金2 (私費外国人留学生) ※2027年度予定	対象者	グローバル入試のうち、「外国人留学生(学校推薦)」で入学した外国人留学生							
	採用人数	各学年6名			給付額	年額35万円	成績条件	修得単位数の条件あり	
	選考基準	支給条件に該当する資格等を取得した者			備考	在学中4回まで。			
特別給付奨学金1 (緊急支援)	対象者	学部生。主たる家計支持者の死亡、疾病、失業、破産(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。							
	採用人数	若干名	給付額	年額50万円	成績条件	修得単位数の条件あり	備考	同事由に対しては、在学中1回とする。	
特別給付奨学金1 (災害支援)	対象者	学部生。主たる家計支持者の地震・風水害等の被災(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。							
	採用人数	若干名	給付額	年額20万円	成績条件	修得単位数の条件あり	備考	同事由に対しては、在学中1回とする。	
特別給付奨学金2 (海外留学派遣)	対象者	交換留学生			採用人数	【渡航支援】交換留学生全員 【留学支援】若干名			
	給付額	【渡航支援】留学先により10万円～20万円 【留学支援】留学先国、留学期間により20万円～80万円			成績条件	【留学支援】交換留学等の留学生試験の成績優秀者			
愛知淑徳大学 同窓会奨学金 修学奨学金	対象者	学部の4年生							
	採用人数	各学科・専攻ごとに異なる(2～4名)				給付額	年額10万円		
	成績条件	4年次前期までの通算GPAが3.0以上であること。				備考	申請年度の3月に卒業する見込みで、愛知淑徳大学同窓会の活動を理解し、入会するものに限る。特別給付奨学金受給者も申請可。		
愛知淑徳大学 同窓会奨学金 留学生奨学金 (外国人留学生)	対象者	「留学」の在留資格を有する正規課程に在籍する外国人留学生。学業成績および人物考課が特に優れている者。							
	採用人数	約20名					給付額	10万円	
	成績条件	学業成績、履修科目数・履修状況、学習態度、生活態度等も含め、総合的に評価する。					備考	1年に1回。他の奨学金(学外)との併願可。	

3 その他の奨学金

地方公共団体や民間団体による奨学金制度は、随時案内します。

国の教育ローン(日本政策金融公庫)

「国の教育ローン」コールセンター 0570-008656 ホームページ <https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

成績開示

1. 受験者本人への開示

入学試験の成績については、受験者本人から請求があった場合に開示します。成績開示を希望する受験者は、以下の要領で申し込んでください。

(1) 開示請求受付期間

2027年4月1日(木)～4月23日(金) 締切日消印有効

(2) 申請者

受験者本人に限ります(代理人による申請は不可)

(3) 開示内容

受験科目または評価項目ごとの得点、総得点、満点値

(4) 提出書類

① 入学試験成績開示請求書：大学WEBサイトより、3月下旬からダウンロードできます。

② 受験票

(i) 公募制推薦入試／一般入試：開示を希望する入学試験の受験票

※紛失した場合は、改めて下記URLからマイページにログインし、受験票を印刷してください。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



(ii) 共通テスト利用入試：大学入学共通テスト受験票

※紛失した場合は、改めて共通テスト出願サイトのマイページから受験票を印刷してください。

③ 開示書送付料：郵便定額小為替 500 円分(「指定受取人」欄の記入は不要)

④ 住民票の写し：送付先の住所が出願時の住所と異なる場合のみ、送付先が記載された住民票を提出してください。送付先の確認をします。

(5) 申し込み方法

<郵送の場合>

「簡易書留」でアドミッションセンター宛に郵送してください(封筒に「入学試験成績開示請求」と朱書きする)。

<持参の場合>

アドミッションセンターに提出してください(受付：平日/9:00～17:00)。

(6) 開示方法

「簡易書留」にて入学試験成績開示請求書記載の住所に「入学試験成績開示書」を郵送します(5月中旬予定)。提出した受験票は、成績開示書とともに返却します。

(7) 書類の郵送先・問い合わせ先

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 TEL (052) 781-7084 (直通)

2. 出身高等学校への開示

本学は全ての入試方式において、調査書等を出願書類として出身高等学校より提出いただくことから、「受験の有無」「合否結果」を出身高等学校長に親展にて通知します。あらかじめ了解のうえ、出願してください。

(1) 上記内容の個人情報の通知は、出身高等学校に限定し、それ以外の学外他者に通知・報告等をおこなうことは一切ありません。

(2) 何らかの理由で出身高等学校への通知を希望しない方は、出願の際、A4用紙(書式自由)に本人直筆で「高等学校への通知を希望しない」旨の一文と郵便番号・住所・氏名・フリガナ・電話番号・学校名を記入、捺印のうえ、出願書類に同封してください。個人情報の通知を希望しない場合でも、入学試験に関して不利益が生じることはありません。

※ 公募制推薦入試については、「学校長の推薦書」を出願書類として出身高等学校より提出していただくため、出身高等学校長にも合否結果を通知します。

点数調整について(公募制推薦入試／一般入試)

各入試における日程や教科(科目)間の格差を是正し、同一基準による成績判定をするために、「中央値補正法」で点数調整をおこないます(共通テストプラス型は本学独自試験の点数のみ)。

中央値補正法とは、各試験教科(科目)の成績順の中央に位置する人の得点(中央値：1,001人受験したとすると、501番目の人の得点)をその科目の満点の5割の点数となるよう全体を補正するものです。ただし、満点と0点は補正しません。

中央値補正法による補正点は次の計算式によって算出しています。

1 素点(元点) < 中央値の場合

$$\text{補正点} = \frac{\text{満点の半分の点} \times \text{素点}}{\text{中央値}}$$

2 素点(元点) ≥ 中央値の場合

$$\text{補正点} = \frac{\text{満点の半分の点} \times (\text{素点} - \text{中央値})}{\text{満点} - \text{中央値}} + \text{満点の半分の点}$$

推 薦 書

(2027年度 公募制推薦入試)

2026年 月 日

愛知淑徳大学
学長 五島 幸一 殿

推薦者 学 校 名

学 校 長 名

印

下記の者を推薦入試志願者として適当と認め、推薦いたします。

フリガナ		生 年 月 日
氏 名		(西暦) 年 月 日

(学力の3要素)

本人の学習歴や活動歴を踏まえて、該当する評価にチェックを記入してください。評価を「努力を要する」とした場合は、生徒の努力を要する点などについて、大学入学後の指導において特に配慮を要する理由を記入してください。それ以外の場合は、未記入で構いません。

	評 価 (該当する評価にチェックを記入)	評価を「努力を要する」とした場合、その理由
知識・技能	☐ 優れている ☐ ふつう ☐ 努力を要する →	
思考力・判断力・表現力	☐ 優れている ☐ ふつう ☐ 努力を要する →	
主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度	☐ 優れている ☐ ふつう ☐ 努力を要する →	

※本様式(word形式)は大学WEBサイトよりダウンロードできます。

※2日分同時に出願する場合、1通で結構です。

2027年度 公募制推薦入試

フリガナ

氏名

生年月日

(西曆)

年

月

日

高校名

高等学校

高等学校在学中に最も意欲的に取り組んだことを以下から1つ選択し、取り組んだ内容について200字から300字程度の文章でまとめてください。

- ① 該当する項目にチェック☑を記入

- 勉学・探究学习

- ☐
- 生徒会活動・学校行事

- ☐
- 資格・検定取得

- ☐
- 部活動・クラブ活動

- ☐
- 社会的活動・ボランティア

- ☐その他（ ）

- ② 取り組んだ内容 (200 字から 300 字程度)

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

200

300

320

※手書きまたはパソコン作成、いずれも可(パソコンで作成する場合は、テキスト入力用(word 形式)を大学 WEB サイトよりダウンロードして使用してください)。

※2日分同時に出願する場合、1通で結構です。

整理番号

※大学にて記入

不正行為の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、入学試験を厳正に実施し、すべての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 不正行為の取り扱いについて

不正行為をおこなった場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、当日それ以降の受験はできなくなります。失格となり、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。その場合、入学検定料は返還しません。試験終了後に不正行為が発覚した場合も、同様に取り扱います。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

2. 次のことをすると不正行為となります

- ①出願書類や解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ②カンニング(試験時間中に試験の教科・科目に関するメモや参考書等を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等)をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ④試験時間中に問題冊子、解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑥試験時間中に使用が許可されていないもの(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き)を使用すること。
- ⑦「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。
- ⑧面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を使用すること。
- ⑨面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、すでに試験が終了した他の受験者から試験に関する内容を教えてもらうこと。
- ⑩面接試験・プレゼンテーション試験において試験後に、これから試験を受ける他の受験者に試験に関する内容を教えること。

3. 次のことをすると不正行為となる場合があります

- ①試験時間中に、使用が許可されていないもの(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き)をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていたりすること。
- ②試験時間中に、携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音等)を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
- ③試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
- ④面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を身に着けていたり手に持っていたりすること。
- ⑤試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

入試に関する生成AI(ChatGPTなど)の取り扱いについて

入学者選抜において、出願時に提出する書類(「志望理由書」「課題レポート」「自己アピール書」など)については、生成AIによって作成されたものを受験者独自の成果物とはみなしません。よって、生成AIに関する指示がない限り、入学者選抜において受験者が生成AIを使用することは認めません。

公募制推薦入試対策講座

夏のオープンキャンパスで実施した公募制推薦入試対策講座(国語・英語・数学・小論文)を動画配信します。本学教員が出題傾向や解答の導き方などを解説します。

申込み：2026年9月 7日(月)～2026年11月 5日(木)

視聴期間：2026年9月14日(月)～2026年11月15日(日)

一般入試問題対策講座

河合塾講師による一般入試問題対策講座(現代文・古文・英語)を動画配信します。講師が自身の見解で分析した出題傾向や勉強方法などのノウハウを解説します。

申込み：2026年12月 2日(水)～2027年 1月21日(木)

視聴期間：2026年12月 9日(水)～2027年 2月 6日(土)

受験生サイトを
check!



問い合わせ先

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

TEL (052) 781-7084 (直通) 平日/9:00～17:00

※土・日・祝日、12月26日～1月5日は電話受付をしていません。

<https://www.aasa.ac.jp/>

試験当日の
問い合わせ先

▶ 星が丘キャンパス TEL (052) 781-1151 (代表)

